臨 床 実 習 必 携〔Ⅰ〕

―― 区分および課題 ――

133　期　生

（2026年４月～2027年４月）

東　京　歯　科　大　学

学 生 番 号	氏　　名

臨床実習必携〔Ⅰ〕 ―区分および課題― 一三三期生 東京歯科大学

目　　次

§１　全般的心得 …… １頁

§２　本学の臨床実習について …… 5

§３　臨床実習区分表 …… 9
　　臨床実習および全体集合日等

§４　卒前臨床実習ガイドライン・全科共通学生自己評価表・
　　全科共通学生用指導体制評価表 …… 21

§５　臨床実習教育目標・実施方法・リクアイヤメント・評価方法
　　共通臨床実習（０期）…… 25
　　保存科 …… 27
　　補綴科 …… 35
　　口腔外科 …… 43
　　歯科麻酔科 …… 53
　　小児歯科・スペシャルニーズ歯科 …… 59
　　矯正歯科 …… 67
　　放射線科 …… 74
　　口腔インプラント科 …… 80
　　健康スポーツ歯科 …… 86
　　スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科 …… 92
　　摂食嚥下リハビリテーション科 …… 98
　　市川総合病院 …… 103
　　千葉歯科医療センター …… 110

§６　指導教員一覧 …… 129

§1 全　般　的　心　得

全　般　的　心　得

第１章　　一 般 的 心 得

１．臨床実習を履修する学生は，常に歯科学生としての自覚を持ち，この心得ならびに大学の諸規程を守り，責任ある言動をしなければならない。
２．臨床実習は，指導者の指示に従わなければならない。
３．院内における朝礼，診療開始・終了等の時刻を厳守すること。
４．実習終了後，ガス栓，水道，電気スイッチ等の確認，特に火気取扱いに留意すること。

第２章　　院内における医療安全のための身だしなみ

【身だしなみの３原則】 清潔感　機能性　品位

身だしなみを整えることは患者さんに安心感を与え，信頼関係を得ることにも繋がる。東京歯科大学水道橋病院の職員として外見だけでなく言葉遣いなど品位を持った行動をする。

また，本マニュアルに定める身だしなみ基準は病院エリアにおける共通ルールとする。

頭　髪　　前髪：目にかからないようにする・垂れないようにする
後髪：肩にかかる場合は髪を束ねる
処置をする際まとめた毛束が前にくるような長さの場合はシニヨンなどでまとめる
華美なヘアアクセサリーは使用しない
ヘアカラーは明るすぎないようにする（明るい場合は外側から見えない様に工夫すること）
診療室で髪を束ねない（医局や控室で整えてから診療室へ）

顔　　髭を生やさない
薄化粧を基本とし，色合いを控える
カラーコンタクト禁止

手・爪　　爪は短く切る
カラーマニキュア・ジェルネイルは禁止とする

白　衣　　常に清潔なものを着用する
（ボタンはとれていないか，ズボンの裾は床についていないか確認し適切な長さに丈詰めをして着用のこと）
長白衣を着用の際は前のボタンを留めること
ポケットに尖った危険なものを入れない
アンダーシャツを着用の場合は白衣の袖からはみ出さないようにすること

名　札　　名札は氏名・所属が明確に識別できるよう，装飾品・キーなど用途外のものを付けずに着用のこと

靴下・靴　　ストッキングは薄色のものを着用する
ズボンから肌が見えないような丈の靴下を履く（くるぶしが見えるようなショート丈の靴下は禁止とする）
履物は足のつま先・甲・かかとをすべて覆うものを使用する

装飾品　　目に見える装飾品は装着しない
装着禁止の例
・ピアス（ファーストピアスを含む）
・ネックレス
・指輪（結婚指輪を含む）
・腕時計（スマートウオッチを含む）。
ただし，腕時計については，手洗いやグローブ装着が不要な場面では装着可。
※上記以外でも目に見える装飾品は全て対象とする

携帯電話の使用について
診療室内では原則禁止とする。ただし業務上やむを得ない場合は患者さんの視界に入らない場所（バックグラウンド等）で使用すること

第３章　　実習期間・区分および実習時間

１．臨床実習期間・区分および実習期間は別に定める。

第４章　　出欠・遅刻・早退および外出

1．担当患者の配当の有無を問わず，決められた時刻に登院すること。

2．出席をとる際は，所属部の指示に従うこと。

3．臨床実習の出席は，１日１回以上確認する。

4．実習時間中は無断で外出してはならない。

5．遅刻・早退があった場合には，0.5回の欠席とする。

6．やむを得ない事故または病気のため欠席する者は，実習開始前に，その旨を所属部あるいは学生課に連絡すること。遅刻の場合もまた同じである。遅刻者は登校時に当日の出席担当者にその旨を申し出ること（申し出がない場合は欠席となる)。なお，初登校後７日以内に学年主任の認印を受けた欠席届を提出すること。

第５章　　器 械 ・ 器 具

1．病院備付の器械・器具を丁寧に取扱い，紛失または破損することのないよう注意すること。

第６章　　接　　遇

1．患者は病を持った弱者である。ホスピタリティにあふれた接遇をめざす。

2．患者に対しては親切を旨とし，自己の怠慢のため患者に迷惑をかけてはならない。

3．常に患者の来院に注意し，必要以上に患者を待たせないこと。

4．患者の受診する心理を的確に知り，正しい診療を行なう上に必要な理解と協力を得るよう努めること。

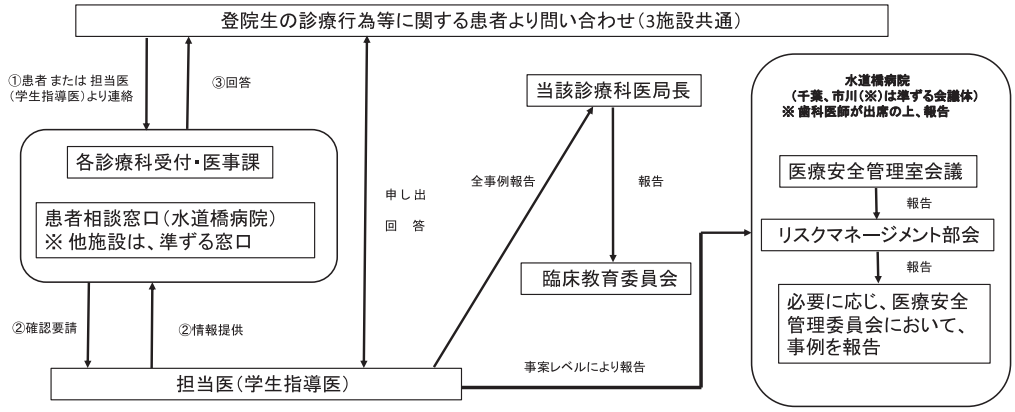
5．当日の診療終了後は指導者と相談の上, 次回の診療日時を約束し, これを守らなければならない。

第７章　　医　療　安　全

1．各病院の「医療安全管理マニュアル」に従うこと。

第８章　　登院学生の診療行為などにより患者との間で発生したトラブルへの対応

１．登院学生が診療に参加することについては患者が記載した同意書ならびに担当医がカルテにその旨を記載してから行う。登院学生の診療行為等で患者との間で発生したトラブルについての対応は下図のフローチャートにしたがって行う。



第９章　　制裁および処罰

１．下記の心得に違反した者および学生の本分に反する行為があると認められた者は，訓告，実習停止，停学または退学処分に科せられることがある。

・病院外において患者を治療したとき
・診療録および処方箋等の記載事項を，指導者の許可なく変更したとき
・指導者の指導によらず，実習を行なったとき
・各自所有すべき器械・器具の補充を命ぜられたにもかかわらず，これに応じなかったとき
・出欠を偽証したとき
・交付を受けた材料の取扱いに不正行為があったとき
・各自の責任として，弁償を命ぜられたにもかかわらず，その義務を履行しなかったとき
・所定の服装をしなかったとき
・許可なく時間外の実習をしたとき
・無断で欠席・早退・実習時間中に外出したとき
・所定の器械・器具を持たず，また不衛生であったとき
・患者に迷惑をかけたとき
・指導者から，再三注意を与えられたにもかかわらず，なお改悛の情がなかったとき

２．その他所属部の指示に従わなかったとき制裁および処罰を受けることがある。

§2　本学の臨床実習について

本学の臨床実習について

本学の臨床実習は，３つの附属医療機関（水道橋病院，千葉歯科医療センターおよび市川総合病院）において患者と実際に接しながら，指導医の指導と監督の下に実施される診療参加型臨床実習である。臨床実習中に修得すべき項目は全体構成として，１）診療の基本，２）基本的診察法，３）基本的臨床技能，４）チーム医療・地域医療，５）患者中心の医療，の５項目で構成される。個々の履修内容については独立して行われるのではなく，総合的な診療能力の基本としての知識，技能及び態度を修得するために，臨床実習全体を通して体系的に行われる。また法令を遵守し，社会制度や歯科医療関連法規に則った診療を行うことを学ぶ。

歯学教育における歯学生の診療参加型臨床実習での歯科医行為については，「歯科医師卒前臨床実習については，患者の同意の下で，歯科医師としての資質向上を目的として卒前教育の一環として行われるものであり，侵襲性が相対的に小さいことや指導医の指導・監督の下に行われることなど，適正な体制の下に相当な手段で実施される場合には，社会通念から見て相当であり，歯科医師法上の違法性は阻却されるものと考えられること」（「歯科医師卒前臨床実習についての考え方について」平成15年６月11日付け文部科学省高等教育局医学教育課長通知）とうたわれており，これに準拠して実施されてきたが，令和５年６月の歯科医師法改正に伴い，令和６年４月からは『「共用試験」に合格した歯学生は歯科医師法第17条の規定にかかわらず，大学が行う臨床実習において，歯科医師の指導監督の下，歯科医療に関する知識及び技能を修得するために歯科医業を行うことができることとする。』となった。本学の臨床実習もこれに従って実施する。

臨床実習の一般目標（GIO）

歯科医学・医療の進歩と改善に貢献するために，総合的な診療能力に必要な基本的知識・技能・態度ならびに歯科医師としての能力を自ら養っていく能力を修得し，研究意欲と研究に対する基礎的素養を身に付ける。

１）診療の基本

一般目標（GIO）

良質かつ適正な歯科医療を提供するために，患者情報の収集・分析，診断，治療計画，記録について，および，医療安全・感染対策についての知識・技能・態度を身につける。

行動目標（SBOs）

①歯科・口腔疾患を正しく診断し，治療方針・治療計画の立案，予後を推測する。【知識（問題解決）】

②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明する。【技能・態度】

③主観的所見，客観的所見，評価，計画＜SOAP＞による診療録及び指示書を作成する。【技能】

④患者の訴え，また指導医からの指摘事項も参考に，治療結果を適正に評価する。【知識（問題解決)】

⑤医療安全対策（標準予防策（standard precautions)，感染予防，医療機器の操作等を含む）を実践する。【技能】

⑥一次救命処置＜BLS＞を実施する。【技能】

⑦薬剤耐性＜AMR＞に配慮した適切な抗菌薬の処方をする。【技能】

２）基本的診察法

一般目標（GIO）

良好な患者－歯科医師関係を築くために，全身状態の把握，診断及び歯科治療に必要な診察ならびに検査を実施できる知識・技能及び態度を修得する。

行動目標（SBOs）

①医療面接を実施し，患者と良好なコミュニケーションをとる。【技能・態度】

②全身状態を評価し，顎顔面及び口腔内の診察を実施する。【技能】

③診断ならびに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し，実施する。【知識（問題解決）・技能】

３）基本的臨床技能

一般目標（GIO）

適切な歯科診療を実践するために，基本的臨床手技を修得する。

行動目標（SBOs）

①局所麻酔（表面麻酔・浸潤麻酔）を実施する。【技能】

②永久歯の単純抜歯を実施する。【技能】

③軟組織の小手術を実施する。【技能】

④齲蝕その他の歯の硬組織疾患（象牙質知覚過敏症を含む）の保存修復治療を実施する。【技能】

⑤歯髄・根尖性歯周疾患の治療を実施する。【技能】

⑥歯周基本治療を実施する。【技能】

⑦歯質の欠損に対する歯冠補綴治療を実施する。【技能】

⑧歯の欠損に対する補綴治療を実施する。【技能】

⑨口腔衛生指導を実施する。【技能】

⑩歯科疾患を予防するための処置をする。【技能】

⑪小児に対する歯科予防処置を実施する。【技能】

⑫模型及び頭部エックス線規格写真等を分析，診断し，歯科矯正治療の計画を立案する。【技能】

４）チーム医療・地域医療

一般目標（GIO）

法令に基づく保健・医療・福祉・介護制度を理解するために，チーム医療，地域医療，病診連携についての知識，技能及び態度を修得する。

行動目標（SBOs）

①地域医療・地域保健（在宅医療（訪問歯科診療を含む），地域包括ケアシステム）を経験する。【技能】

②病診連携，病病連携を経験する。【技能】

③多職種連携（歯科衛生士，歯科技工士，医師，薬剤師，看護師，その他の関連職種並びに介護職）によるチーム医療を経験する。【技能】

５）患者中心の医療

一般目標（GIO）

法令に基づく保健・医療・福祉・介護制度を理解するために，チーム医療，地域医療，病診連携についての知識，技能及び態度を修得する。

行動目標（SBOs）

①根拠に基づいた医療＜EBM＞，narrative-based medicine ＜NBM＞に基づいた患者中心の医療を実践する。【技能・態度】

②インフォームド・コンセントを得ることを実施する。【技能・態度】

なお，千葉歯科医療センターにおいては４）①に，市川総合病院においては４）②，③に，特に重点を置く。

§3 臨 床 実 習 区 分 表

第１３３期生　臨床実習区分表

４月３日（金）：新年度オリエンテーション
４月３日（金）～９日（木）：課題講義13コマ，０期講義　等
４月７日（火）：登院式・登院時オリエンテーション
４月10日（金）～14日（火）：準備期間（各科説明・見学，講義）※表－23

区　分　け									
A 班		B 班		C 班		D 班		E 班	
A － 1	1 ～ 6	B － 1	26～31	C － 1	50～55	D － 1	75～80	E － 1	100～106
A － 2	7 ～12	B － 2	32～37	C － 2	56～61	D － 2	81～86	E － 2	107～113
A － 3	13～18	B － 3	38～43	C － 3	62～67	D － 3	87～92	E － 3	114～120
A － 4	19～25	B － 4	44～49	C － 4	68～74	D － 4	93～99	E － 4	121～126

※　臨床実習時間は　　平　日（水道橋）午 前　８：30～12：30　午 後　13：30～18：00（１日）
（市　川）午 前　８：45～12：00　午 後　13：00～18：00（１日）
（千　葉）午 前　８：45～12：00　午 後　13：00～18：00（１日）
土曜日（水道橋）午 前　８：30～12：30
（市　川）午 前　８：45～12：30
（千　葉）午 前　８：45～12：45
※ただし，実習日・実習内容により時間が変わることがある。

｛自　2026年　４月15日（水）｝　　｛至　2027年　４月中旬｝

【表－１】　　（水）は水道橋病院，（千）は千葉歯科医療センター，（市）は市川総合病院

期　　間			日数	（水）保存	（水）補綴	（水）口外【後期】麻酔	（水），（市）	（水），（千）
							【前期】インプラント，麻酔，市川 【後期】スポ歯・SN・嚥下，放射線，市川	【前期】放射線，矯正・小児（水），矯正・小児（千），千葉歯科医療センター 【後期】矯正・小児（水），矯正・小児（千），千葉歯科医療センター
前期	第１期	4.15（水）～ 5.21（木）	24	A	B	E	C ※表－２	D ※表－12
	第２期	5.22（金）～ 6.18（木）	23	C	A	B	D ※表－３	E ※表－13
	第３期	6.19（金）～ 7.17（金）	24	D	E	A	B ※表－４	C ※表－14
	第４期	7.21（火）～ 8.24（月）	24	E	D	C	A ※表－５	B ※表－15
	第５期	8.25（火）～ 9.25（金）	24	B	C	D	E ※表－６	A ※表－16
後期	第６期	9.28（月）～10.27（火）	24	D	E	A	B ※表－７	C ※表－17
	第７期	10.28（水）～11.26（木）	23	C	D	E	A ※表－８	B ※表－18
	第８期	11.27（金）～12.25（金）	24	B	C	D	E ※表－９	A ※表－19
	第９期	1.12（火）～ 2.　9（火）	23	A	B	C	D ※表－10	E ※表－20
	第10期	2.10（水）～ 3.12（金）	23	E	A	B	C ※表－11	D ※表－21
保留者発表		3.15（月）						
保留者試験期間		3.16（火）～ 3.20（土）	ケース補充期間				3.16（火）～ 3.20（土）	
臨床実習判定発表		3.25（木）（進級判定教授会）						
プログレス期間		～４月中旬	20～25日	水道橋病院			千葉歯科医療センター	市川総合病院
				ベーシック				
総 合 講 義		４月中旬～						

夏期休暇について：第４期の期間中に６日間とする。

【水道橋病院】口腔インプラント科，歯科麻酔科　【市川総合病院】配属区分表

（2026年４月15日（水）～2026年９月25日（金））【前期】

（表－２）Ｃ班

前期（１期）	口腔インプラント科	歯科麻酔科	市川総合病院	
4.15(水)～ 4.21(火)(6)	Ｃ－１	Ｃ－２	Ｃ－３	Ｃ－４
4.22(水)～ 4.28(火)(6)	Ｃ－２	Ｃ－１	Ｃ－４	Ｃ－３
5. 7(木)～ 5.14(木)(6)	Ｃ－３	Ｃ－４	Ｃ－１	Ｃ－２
5.15(金)～ 5.21(木)(6)	Ｃ－４	Ｃ－３	Ｃ－２	Ｃ－１

（表－３）Ｄ班

前期（２期）	口腔インプラント科	歯科麻酔科	市川総合病院	
5.22(金)～ 5.28(木)(6)	Ｄ－１	Ｄ－２	Ｄ－３	Ｄ－４
5.29(金)～ 6. 4(木)(6)	Ｄ－２	Ｄ－１	Ｄ－４	Ｄ－３
6. 5(金)～ 6.11(木)(6)	Ｄ－３	Ｄ－４	Ｄ－１	Ｄ－２
6.12(金)～ 6.18(木)(5)	Ｄ－４	Ｄ－３	Ｄ－２	Ｄ－１

（表－４）Ｂ班

前期（３期）	口腔インプラント科	歯科麻酔科	市川総合病院	
6.19(金)～ 6.25(木)(6)	Ｂ－１	Ｂ－２	Ｂ－３	Ｂ－４
6.26(金)～ 7. 2(木)(6)	Ｂ－２	Ｂ－１	Ｂ－４	Ｂ－３
7. 3(金)～ 7. 9(木)(6)	Ｂ－３	Ｂ－４	Ｂ－１	Ｂ－２
7.10(金)～ 7.17(金)(6)	Ｂ－４	Ｂ－３	Ｂ－２	Ｂ－１

（表－５）Ａ班

前期（４期）	口腔インプラント科	歯科麻酔科	市川総合病院	
7.21(火)～ 7.27(月)(6)	Ａ－１	Ａ－２	Ａ－３	Ａ－４
7.28(火)～ 8. 3(月)(6)	Ａ－２	Ａ－１	Ａ－４	Ａ－３
8. 4(火)～ 8. 7(金)(4)	夏期休暇			
8.10(月)～ 8.17(月)(6)	Ａ－３	Ａ－４	Ａ－１	Ａ－２
8.18(火)～ 8.24(月)(6)	Ａ－４	Ａ－３	Ａ－２	Ａ－１

（表－６）Ｅ班

前期（５期）	口腔インプラント科	歯科麻酔科	市川総合病院	
8.25(火)～ 8.31(月)(6)	Ｅ－１	Ｅ－２	Ｅ－３	Ｅ－４
9. 1(火)～ 9. 7(月)(6)	Ｅ－２	Ｅ－１	Ｅ－４	Ｅ－３
9. 8(火)～ 9.15(火)(6)	Ｅ－３	Ｅ－４	Ｅ－１	Ｅ－２
9.16(水)～ 9.25(金)(6)	Ｅ－４	Ｅ－３	Ｅ－２	Ｅ－１

【水道橋病院】スポーツ歯科・スペシャルニーズペインクリニック科，摂食嚥下リハ科，放射線科
【市川総合病院】配属区分表

（2026年９月28日（月）～2027年３月12日（金））【後期】

（表－７）Ｂ班

後期（６期）	健康スポーツ歯科 SN 科 摂食嚥下リハ科	放射線科	市川総合病院	
9.28(月)～ 10. 3(土)(6)	Ｂ－１	Ｂ－２	Ｂ－３	Ｂ－４
10. 5(月)～ 10.13(火)(6)	Ｂ－２	Ｂ－１	Ｂ－４	Ｂ－３
10.14(水)～ 10.20(火)(6)	Ｂ－３	Ｂ－４	Ｂ－１	Ｂ－２
10.21(水)～ 10.27(火)(6)	Ｂ－４	Ｂ－３	Ｂ－２	Ｂ－１

（表－８）Ａ班

後期（７期）	健康スポーツ歯科 SN 科 摂食嚥下リハ科	放射線科	市川総合病院	
10.28(水)～ 11. 4(水)(6)	Ａ－１	Ａ－２	Ａ－３	Ａ－４
11. 5(木)～ 11.11(水)(6)	Ａ－２	Ａ－１	Ａ－４	Ａ－３
11.12(木)～ 11.18(水)(5)	Ａ－３	Ａ－４	Ａ－１	Ａ－２
11.19(木)～ 11.26(木)(6)	Ａ－４	Ａ－３	Ａ－２	Ａ－１

（表－９）Ｅ班

後期（８期）	健康スポーツ歯科 SN 科 摂食嚥下リハ科	放射線科	市川総合病院	
11.27(金)～ 12. 3(木)(6)	Ｅ－１	Ｅ－２	Ｅ－３	Ｅ－４
12. 4(金)～ 12.10(木)(6)	Ｅ－２	Ｅ－１	Ｅ－４	Ｅ－３
12.11(金)～ 12.18(金)(6)	Ｅ－３	Ｅ－４	Ｅ－１	Ｅ－２
12.19(土)～ 12.25(金)(6)	Ｅ－４	Ｅ－３	Ｅ－２	Ｅ－１

（表－10）D 班

後期（９期）	健康スポーツ歯科 SN 科 摂食嚥下リハ科	放射線科	市川総合病院	
1.12(火)～ 1.18(月)(6)	D－1	D－2	D－3	D－4
1.19(火)～ 1.25(月)(6)	D－2	D－1	D－4	D－3
1.26(火)～ 2. 1(月)(6)	D－3	D－4	D－1	D－2
2. 3(水)～ 2. 9(火)(5)	D－4	D－3	D－2	D－1

（表－11）C 班

後期（10期）	健康スポーツ歯科 SN 科 摂食嚥下リハ科	放射線科	市川総合病院	
2.10(水)～ 2.19(金)(6)	C－1	C－2	C－3	C－4
2.20(土)～ 2.27(土)(6)	C－2	C－1	C－4	C－3
3. 1(月)～ 3. 5(金)(5)	C－3	C－4	C－1	C－2
3. 6(土)～ 3.12(金)(6)	C－4	C－3	C－2	C－1

【水道橋病院】放射線科，小児歯科，矯正歯科　【千葉歯科医療センター】配属区分表

（2026年４月15日（水）～2026年９月25日（金））【前期】

（表－12）Ｄ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

前期（１期）	放射線科	矯正歯科（水） 小児歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊4.15(水)～ 4.21(火)(6)	Ｄ－１	Ｄ－２	Ｄ－３	Ｄ－４
4.22(水)～＊4.28(火)(6)	Ｄ－２	Ｄ－１	Ｄ－４	Ｄ－３
＊5. 7(木)～ 5.14(木)(6)	Ｄ－３	Ｄ－４	Ｄ－１	Ｄ－２
5.15(金)～＊5.21(木)(6)	Ｄ－４	Ｄ－３	Ｄ－２	Ｄ－１

（表－13）Ｅ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

前期（２期）	放射線科	矯正歯科（水） 小児歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊5.22(金)～ 5.28(木)(6)	Ｅ－１	Ｅ－２	Ｅ－３	Ｅ－４
5.29(金)～＊6. 4(木)(6)	Ｅ－２	Ｅ－１	Ｅ－４	Ｅ－３
＊6. 5(金)～ 6.11(木)(6)	Ｅ－３	Ｅ－４	Ｅ－１	Ｅ－２
6.12(金)～＊6.18(木)(5)	Ｅ－４	Ｅ－３	Ｅ－２	Ｅ－１

（表－14）Ｃ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

前期（３期）	放射線科	矯正歯科（水） 小児歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊6.19(金)～ 6.25(木)(6)	Ｃ－１	Ｃ－２	Ｃ－３	Ｃ－４
6.26(金)～＊7. 2(木)(6)	Ｃ－２	Ｃ－１	Ｃ－４	Ｃ－３
＊7. 3(金)～ 7. 9(木)(6)	Ｃ－３	Ｃ－４	Ｃ－１	Ｃ－２
7.10(金)～＊7.17(金)(6)	Ｃ－４	Ｃ－３	Ｃ－２	Ｃ－１

（表－15）Ｂ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

前期（４期）	放射線科	矯正歯科（水） 小児歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊7. 21(火)～ 7. 27(月)(6)	Ｂ－１	Ｂ－２	Ｂ－３	Ｂ－４
7. 28(火)～＊8. 3(月)(6)	Ｂ－２	Ｂ－１	Ｂ－４	Ｂ－３
8. 4(火)～ 8. 7(金)(4)	夏期休暇			
＊8. 10(月)～ 8. 17(月)(6)	Ｂ－３	Ｂ－４	Ｂ－１	Ｂ－２
8. 18(火)～＊8. 24(月)(6)	Ｂ－４	Ｂ－３	Ｂ－２	Ｂ－１

（表－16）Ａ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

前期（５期）	放射線科	矯正歯科（水） 小児歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊8. 25(火)～ 8. 31(月)(6)	Ａ－１	Ａ－２	Ａ－３	Ａ－４
9. 1(火)～＊9. 7(月)(6)	Ａ－２	Ａ－１	Ａ－４	Ａ－３
＊9. 8(火)～ 9. 15(火)(6)	Ａ－３	Ａ－４	Ａ－１	Ａ－２
9. 16(水)～＊9. 25(金)(6)	Ａ－４	Ａ－３	Ａ－２	Ａ－１

【水道橋病院】小児歯科，矯正歯科　【千葉歯科医療センター】配属区分表

（2026年９月28日（月）～2027年３月12日（金））【後期】

（表－17）Ｃ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

後期（６期）	小児歯科（水）	矯正歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊9.28(月)～ 10. 3(土)(6)	Ｃ－１	Ｃ－２	Ｃ－３	Ｃ－４
10. 5(月)～＊10.13(火)(6)	Ｃ－２	Ｃ－１	Ｃ－４	Ｃ－３
＊10.14(水)～ 10.20(火)(6)	Ｃ－３	Ｃ－４	Ｃ－１	Ｃ－２
10.21(水)～＊10.27(火)(6)	Ｃ－４	Ｃ－３	Ｃ－２	Ｃ－１

（表－18）Ｂ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

後期（７期）	小児歯科（水）	矯正歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊10.28(水)～ 11. 4(水)(6)	Ｂ－１	Ｂ－２	Ｂ－３	Ｂ－４
11. 5(木)～＊11.11(水)(6)	Ｂ－２	Ｂ－１	Ｂ－４	Ｂ－３
＊11.12(木)～ 11.18(水)(5)	Ｂ－３	Ｂ－４	Ｂ－１	Ｂ－２
11.19(木)～＊11.26(木)(6)	Ｂ－４	Ｂ－３	Ｂ－２	Ｂ－１

（表－19）Ａ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

後期（８期）	小児歯科（水）	矯正歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊11.27(金)～ 12. 3(木)(6)	Ａ－１	Ａ－２	Ａ－３	Ａ－４
12. 4(金)～＊12.10(木)(6)	Ａ－２	Ａ－１	Ａ－４	Ａ－３
＊12.11(金)～ 12.18(金)(6)	Ａ－３	Ａ－４	Ａ－１	Ａ－２
12.19(土)～＊12.25(金)(6)	Ａ－４	Ａ－３	Ａ－２	Ａ－１

（表－20）Ｅ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

後期（９期）	小児歯科（水）	矯正歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊1.12(火)～ 1.18(月)(6)	Ｅ－１	Ｅ－２	Ｅ－３	Ｅ－４
1.19(火)～＊1.25(月)(6)	Ｅ－２	Ｅ－１	Ｅ－４	Ｅ－３
＊1.26(火)～ 2. 1(月)(6)	Ｅ－３	Ｅ－４	Ｅ－１	Ｅ－２
2. 3(水)～＊2. 9(火)(5)	Ｅ－４	Ｅ－３	Ｅ－２	Ｅ－１

（表－21）Ｄ班　千葉歯科医療センター期間中の『＊』は移動日のため，実習はなし

後期（10期）	小児歯科（水）	矯正歯科（水）	矯正歯科（千） 小児歯科（千）	千葉歯科医療センター
＊2.10(水)～ 2.19(金)(6)	Ｄ－１	Ｄ－２	Ｄ－３	Ｄ－４
2.20(土)～＊2.27(土)(6)	Ｄ－２	Ｄ－１	Ｄ－４	Ｄ－３
＊3. 1(月)～ 3. 5(金)(5)	Ｄ－３	Ｄ－４	Ｄ－１	Ｄ－２
3. 6(土)～＊3.12(金)(6)	Ｄ－４	Ｄ－３	Ｄ－２	Ｄ－１

全員集合日（ホームルーム）：集合時間までに水道橋校舎本館13階・第１講義室に集合すること。

年	2026年	2027年
月	５月21日（木）16：45	２月９日（火）16：45
	６月18日（木）16：45	３月15日（月）17：15（予定）
	７月17日（金）16：45	
	８月24日（月）16：45	
	９月25日（金）16：45	
日	10月27日（火）16：45	
	11月26日（木）16：45	
	12月25日（金）16：45	

※　集合日の実習終了時間について
　○16：45～の場合：水道橋16：30，千葉15：00，市川15：30

実習期間中大学行事等のため実習日数から除いた日

期　間	実習日数から除いた日	
第１期	休講日	2026. 4. 30（木）～ 5. 2（土）
第３期	予備日	2026. 7. 18（土）
	夏休み	2026. 8. 4（土）～ 8. 7（金）
第５期	第１回総合学力試験	2026. 9. 26（土）
	冬休み	2026. 12. 26（土）～2027. 1. 6（水）
第８期	第２回総合学力試験	2027. 1. 7（木）
	休講日	2027. 1. 8（金）
第９期	一般入試Ⅰ期	2027. 2. 2（火）
第10期	一斉技能試験（CSX）	2027. 2. 6（土）　＊追再試験は2027. 2. 27（土）予定
	創立記念日	2027. 2. 12（金）
保留者試験期間	総合学力追・再試験	2027. 3. 15（月）
	発表及び補充試験	2027. 3. 15（月）～ 3. 20（土）

（表－23）準備期間　日程表

期　間			保存	補綴	口外・麻酔	児歯，矯正 スペシャルニーズ， 放射線	IP，スポ歯， 摂食嚥下
	準備 第１期	4. 10(金) 14：00～ 18：00	A	B	E	C　※１	D　※３
	準備 第２期	4. 13(月) 9：00～ 13：00	C	A	B	D　※２	E　※４
	準備 第３期	4. 13(月) 14：00～ 18：00	D	E	A	B　※１	C　※３
	準備 第４期	4. 14(火) 9：00～ 13：00	E	D	C	A　※２	B　※４
	準備 第５期	4. 14(火) 14：00～ 18：00	B	C	D	E　※１	A　※３

【児歯，矯正，障害者，放射線】

	※１	※２
小児歯科	14：00～14：50	9：00～ 9：50
矯正歯科	15：00～15：50	10：00～10：50
スペシャルニーズペインクリニック科	16：00～16：50	11：00～11：50
放射線科	17：00～17：50	12：00～12：50

【IP，スポ歯，嚥下】

	※３	※４
口腔インプラント科	14：00～14：50	9：00～ 9：50
健康スポーツ歯科	15：00～15：50	10：00～10：50
摂食・嚥下リハ科	16：00～16：50	11：00～11：50

§４　卒前臨床実習ガイドライン・全科共通学生
自己評価表・全科共通学生用指導体制評価表

卒前臨床実習　全科共通自己評価表

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿科臨床実習　　学生氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この評価表の完成と提出が臨床実習課程合格の条件の一つなので，学生はそれぞれの科ごとに記入すること。

※マークシートカードに鉛筆で記入すること。

Ⅰ．期間中に受け持った患者の数について〔　〕の内必要な事項を選ぶ

№　保存科，補綴科，口腔外科，小児歯科，矯正歯科，インプラント科，
摂食嚥下リハビリテーション，健康スポーツ歯科，市川総合病院・歯科，臨床検査

〔
1．歯科医療行為を行った患者の数は……＿＿名
2．そのうち治療計画を立案した患者の数は……＿＿名
3．そのうち実地ケースを行った患者の数は……＿＿名
4．そのうち診療補助・介補ケース・診療見学を行った患者の数は……＿＿名
〕

以下のとおりマークする

人　数	マーク
0名	a
1名～5名	b
6名～10名	c
11名～29名	d
30名以上	e

口腔外科，歯科麻酔科，市川総合病院・歯科

〔
5．入院手術を見学した患者の数は……＿＿名
6．そのうち症例報告を行った患者の数は……＿＿名
〕

放射線科

〔
7．見学した画像検査症例の数は……＿＿名
8．見学した画像診断症例の数は……＿＿名
〕

市川総合病院・医科

〔
9．見学した外来患者の数は……＿＿名
10．そのうち症例報告を行った患者の数は……＿＿名
11．入院ないし手術を見学した患者の数は……＿＿名
12．そのうち症例報告を行った患者の数は……＿＿名
〕

千葉歯科医療センター

〔
13．見学した外来患者の数は……＿＿名
14．そのうちディスカッションレポートを作成した患者の数は……＿＿名
〕

● あなたの臨床実習生としての知識，臨床技能，診療業務行動，学習態度について本実習期間を振り返り以下の選択肢の中でもっとも近い状況にチェックすること。

15．基礎知識の量と理解度

a 知識の量や理解度は不十分であった。
b 知識の量や理解度はやや不十分であった。
c 臨床実習に必要な知識の量や理解度であった。
d 臨床実習学生に求められる知識の量や理解度以上であった。
e 知識の量や理解度はたいへん優れたものであった。
（マークなし）わからない。

16. 医療面接，プロトコール記載（ケースレポート問診記載）
a 医療面接，プロトコール記載内容は断片的で不十分であった。
b 医療面接，プロトコール記載内容はやや不十分で記載もれがいくぶんあった。
c 医療面接，プロトコール記載内容は患者の情報をほぼ把握できるものであった。
d 医療面接，プロトコール記載内容は完全であり診断，治療方針決定が行なえるものであった。
e 医療面接，プロトコール記載内容はたいへん優れたものであった。
（マークなし）わからない，行っていない。

17. 歯科医療行為〔放射線，矯正歯科，インプラント科，市川総合病院・医科，千葉歯科医療センター：記入不要〕
a 重要な歯科医療行為の要点を把握しておらず適切な歯科医療行為を行う能力に欠けていた。
b 歯科医療行為は不完全なことがあり指導医の指導，介助をかなり必要とした。
c 一般的な歯科医療行為を行う技術があり指導医の指導により自ら歯科医療行為を行うことができた。
d 歯科医療行為を行うに十分な技術があり指導医の助言のもと自ら歯科医療行為を行うことができた。
e 優秀な歯科医療行為を行う技術があり自ら歯科医療行為を行うことができた。
（マークなし）わからない，行っていない。

18. 市川総合病院・医科（前期）のみ回答
医行為（見学）
a 重要な医行為の要点を把握しておらず，指導医の医行為を理解できなかった。
b 指導医の医行為を断片的にしか理解できなかった。
c 指導医の医行為をある程度理解できた。
d 指導医の医行為を十分に理解できた。
e 指導医の医行為を十分に理解でき，次に必要な医行為も予想できた。
（マークなし）わからない。

19.〔実地ケースの〕カルテ記載〔市川総合病院・医科，千葉歯科医療センター：記入不要〕
a 病歴，所見，診療内容などの記載は大雑把で断片的であり記載もれが多かった。
b 病歴，所見，診療内容などの記載はやや不十分で記載もれがいくぶんあった。
c 病歴，所見，診療内容などの記載は標準的であり患者情報，診療内容をほぼ把握できるものであった。
d 病歴，所見，診療内容などの記載は詳細で完全であり整理されたものであった。
（マークなし）わからない。

20. 症例報告（ケースレポートあるいは実地ケースの術後レポート）
a 報告（ケースレポート）内容は全く整理されておらず大雑把で断片的であり内容も不十分であった。
b 報告（ケースレポート）内容はやや不十分かつ不正確であった。
c 報告（ケースレポート）の内容，記載は標準的であり整理されたものであった。
d 報告（ケースレポート）の内容，記載は完全であり，よく整理されたものであった。
（マークなし）わからない。

21. 臨床実習学生としての態度

a 欠席，遅刻が多く歯科医師としての信頼性にも欠けると思わせるところがあった。
b 患者の態度，欲求を把握し，対応することに消極的であった。
c 患者の態度，欲求を把握し，ほぼ適切に対応することができた。
d 患者の態度，欲求を把握し，積極的に対応することができた。
e 患者の態度，欲求を把握し，積極的に対応し，患者の満足を得ることができた。
（マークなし）わからない。

22. 診療環境の整備

a 大雑把で乱雑で器材の不足，不良があり定時に整備が完了していなかった。
b 整理，整頓が不十分で診療時に不良が発見されることがあった。
c 整理，整頓が十分で歯科医療行為を行う時にほぼ適切に対応することができた。
d 整理，整頓が完全で効率良く歯科医療行為を行うことができた。
e 整理，整頓が完璧で器材の整備も万全であった。
（マークなし）わからない。

23. 患者とのコミュニケーション

a 患者の欲求，感情，希望に対し理解，配慮に欠けるところが多かった。
b 時々，医師患者関係が適切にとれないことがあった。
c 患者やその家族と適切な関係を構築することができた。
d 患者やその家族との会話，対応に優れ十分な相互理解が得られた。
e 患者やその家族と打ち解ける能力に優れ極めて良好な医師患者関係を構築できた。
（マークなし）わからない。

24. 自己学習能力と柔軟性

a 自分の不十分さに全く気付かず指導医の助言にも耳を傾けなかった。
b 自分の不適切さは自覚するものの指導医の助言には抵抗感を持った。
c 指導医の助言や建設的意見に耳を傾けようとした。
d 自分への評価，助言を受け入れ改善しようと努力した。
e 自分への評価，助言を積極的に求め自らを向上しようと努力した。
（マークなし）わからない。

この実習の感想，総合評価

専用の用紙に記入の上，各科へ提出すること。

卒前臨床実習　全科共通学生用指導体制評価表

各項目について４段階で評価し，該当する番号をマークシートに記入してください。

全くそうではなかった	a
どちらかとえいばそうではなかった	b
どちらかといえばそうだった	c
全くそうだった	d
評価不適当	e

№（**オリエンテーション・準備期間**）

25. 初めに臨床実習で修得すべき項目が説明された。
26. 初めに臨床実習で自分に与えられる診療上の役割が説明された。
27. 初めに臨床実習の評価の基準やその方法が説明された。

（学習の機会，教材の提供）

28. 患者数や疾患の種類は適切であった。
29. 初めに臨床実習で自分に与えられた診療上の役割に追加，あるいは減らされた役割は時期に応じて自分の能力を高めるのに適切であった。
30. 歯科医療行為を行う機会が十分に与えられた。〔市川総合病院医科，千葉歯科医療センター：記入不要〕
31. 資料収集，文献検索の機会が十分に与えられた。
32. 診療方針について自分なりの意見を述べる機会を十分与えてくれ，ディスカッションができた。
33. 口頭での情報提供，あるいは役に立つテキストや論文などが配付されるなど手技のコツや診断のカギとなる医学知識を良く学べるように適切な援助を受けた。
34. 指導医はチェアサイド，(ベッドサイド)での患者さんの接し方における模範として適切であった。

（フィードバック，学習の促進，指導態度）

35. 指導医（や看護職員）から技能，知識，態度に関するフィードバックがあった。
36. それらのフィードバックはタイミングや内容，方法などが適切で納得できるものだった。
37. 指導医は知識や技能，態度習得の意欲が湧いてくるような刺激を与えてくれた。
38. 自分の接した指導医は歯科学生の指導に熱心であった。

（医療チーム間の人間関係対応）

39. 指導医は自分を医療チームの一員として尊重してくれた。
40. 指導医は相談しやすかった。
41. 指導医はチーム内（看護，事務職員）との人間関係がうまくいくように配慮してくれた。

（総括）

42. 総じて自分の接した指導医の指導・監査は適切だった。

以下の項目は，科により記入不要

43. 病歴聴取の機会が十分に与えられた。
44. 身体および，口腔内の診察と検査の機会が十分に与えられた。
45. 回診，カンファレンスなどで症例呈示の機会が十分に与えられた。

後期臨床実習のみ記入

46. 初めに与えられた診療上の役割は前期より高度であった。

§５　臨床実習教育目標・実施方法・
リクアイヤメント・評価方法

O期

共通臨床実習
講義内容

〔登院式〕

実施日時：2026年４月７日㈫　10：00～10：30

実施場所：水道橋校舎　新館血脇記念ホール

〔O期講義〕

実施日時：2026年４月７日㈫　13：30～17：40

実施場所：水道橋校舎　本館13階　第１講義室

時限	時間	講義内容	講義担当者
1	13：30～14：10	個人情報保護管理	担当副病院長
2	14：20～15：20	緊急時の対応	医療安全管理室長
3	15：30～16：30	患者との接遇	水道橋病院長
4	16：40～17：40	電子カルテの概要	〃

共通臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
1．診療の基本技術	
1）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために，医療面接の基礎を修得する。 ＳＢＯｓ：1．歯科医師として好ましい態度で患者と家族に対応できる。 2．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を判断し適切に対応できる。 3．来院の動機と主訴を聞き取り記述できる。 4．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 5．時系列に現病歴を聞き取り記述できる。 6．プライバシーへの配慮ができる。 7．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性を確保し，適切な危機管理を行うために必要な知識と態度を修得する。 ＳＢＯｓ：1．歯科医療を行うにあたっての危険性を説明できる。 2．医療事故の防止法について説明できる。 3．医療事故防止のための対策について説明できる。 4．医療事故発生時の対応方法について説明できる。 5．指示された症例について危機管理の点から評価できる。
2）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：正しい診断を行うために，必要な診察と検査に関する知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：1．診察によって得られた情報を記録できる。 2．各種検査法の原理と解釈法を説明できる。
⑵　消毒・滅菌・院内感染	ＧＩＯ：歯科医療を安全に行うために，感染予防に必要な消毒・滅菌の知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：1．Standard precautions が実施できる。 2．医療廃棄物を適切に扱える。
⑶　指示書及び依頼状等の作成	ＧＩＯ：診療を的確に進めるために，診療記録と各種指示書の作成法を身につける。 ＳＢＯｓ：1．診療記録の記載ができる。

保存科

「卒前臨床実習のガイドライン」

GIO

個々の患者に適した治療を行うために，必要な診察・検査ならびに治療計画の立案と治療手技の実施に関する知識・技能・態度を修得する。

SBOs

① 得られた情報をもとに, 診断･治療計画を立案する。

② 基礎的な歯科疾患に対する処置を実施する。

③ 治療に必要な器具・器材を準備する。

④ 患者を誘導し，医療面接を実施する。

⑤ 検査結果に基づく，診断・治療計画（内容）について指導医とディスカッションを行う。

⑥ 治療計画に沿って診療に参画し，診療終了後に指導医からフィードバックを受ける。

⑦ 指導医とともに患者への病態の説明に参加する。

⑧ 診療終了後，POMR の方法に則っとり資料録（レポート）を作成し，指導医の確認を受ける。

⑨ 使用した器具・器材の後片付けを行う。

⑩ 個人情報の取扱いに配慮する。

保存科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために，医療面接の基礎を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師として好ましい態度で患者と家族に対応する。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応する。 ３．来院の動機と主訴を聞き取り記述する。 ４．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断する。 ５．時系列に現病歴を聞き取り記述する。 ６．プライバシーへの配慮をする。 ７．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出する。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理について，基礎的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医療事故防止のための対策について説明する。 ２．医療事故発生時の対応法について説明する。 ３．危機管理マニュアルに沿った対応をとる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：正しい診断を行うために，必要な診察と検査に関する知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察・検査を実施する。 ２．診察・検査によって得られた情報を記録する。
⑵　診断・治療計画の立案	ＧＩＯ：個々の患者に適した治療を行うために，基礎的な歯科疾患（歯髄・根尖性歯周組織疾患・歯周疾患・齲蝕）についての診断能力を身につけ，治療計画立案の方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察および検査結果から問題点を抽出する。 ２．問題点の重要性を判定する。 ３．診断名を推定する。 ４．診断理由を述べる。 ５．診断名に対する治療法を列挙する。 ６．治療方法に関する情報を収集する。 ７．治療計画を立案する。
⑶　消毒・滅菌	ＧＩＯ：歯科医療を安全に行うために，感染予防に必要な消毒・滅菌の知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．Standard precautions を実施する。 ２．手指，器具および技工物などの消毒・滅菌法を説明する。 ３．医療廃棄物を適切に処理する。
⑷　診療記録等の作成	ＧＩＯ：診療を進めるために，診療記録と各種指示書の作成法を身につける。 ＳＢＯｓ：１．診療記録を記載する。 ２．指示書・処方箋の記載法を説明する。

保存科－２

項　目	教　育　目　標
２．疾患別基本治療技能	
１）歯・歯髄・歯周組織の疾患	
⑴　歯の硬組織疾患	ＧＩＯ：歯の硬組織疾患に関する診察・検査・診断，治療および術後の口腔健康管理を行うために，必要な知識，技能および態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯の硬組織疾患における病態とその病因を説明する。 ２．歯の硬組織疾患の診断に必要な診察および検査を実施する。 ３．診察・検査結果をもとに歯の硬組織疾患を診断する。 ４．治療計画を立案する。 ５．治療法を選択し，その必要性と治癒経過を説明する。 ６．歯の硬組織疾患に対する基本的な処置を実施する。 ７．象牙質・歯髄複合体の保護を実施する。 ８．処置の予後を推測し説明する。
⑵　歯周疾患	ＧＩＯ：基本的な歯周治療を行うために，治療法の知識，技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯周治療の流れが説明する。 ２．主訴に対する治療法を説明する。 ３．歯周組織検査を適切に実施する。 ４．予後を説明する。 ５．治療計画を立案する。 ６．歯周基本治療を適切に実施する。 ７．再評価を実施する。 ８．歯周外科処置の治療術式を説明する。 ９．口腔機能回復治療について説明する。 10．メインテナンス・SPT について適切に実施する。 11．歯周病と歯周治療後の治癒について病理組織学的に説明する。
⑶　歯髄・根尖性歯周組織疾患	ＧＩＯ：基本的な歯内療法処置を行うために，治療法の知識，技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．各疾患を診断するための診査法を実施する。 ２．治療計画を立案する。 ３．疾患の概要と治療方針・術式・治癒経過を患者に説明する。 ４．基本的な根管処置操作の前準備を実施する。 ５．歯髄保存療法を実施する。 ６．基本的な根管処置操作を実施する。 ７．治療後の治癒について病理組織学的に説明する。
２）歯科疾患の予防・管理	
⑴　口腔保健指導と予防処置	ＧＩＯ：セルフケア支援のための口腔保健指導と口腔保健状態を向上させるための予防処置（プロフェッショナルケア）を行うために必要な知識，技能，および態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科疾患の発症因子を推定する。 ２．口腔の健康度やリスクの評価を判定する。 ３．セルフケアのための動機づけを実施する。 ４．口腔清掃を指導する。 ５．間食指導を実施する。 ６．定期的な健康管理の重要性を説明する。 ７．PMTC を実施する。 ８．定期的な予防処置の重要性を説明する。
⑵　口臭の診断と対応	ＧＩＯ：口臭を訴える患者への診断とその対応を行うために，必要な知識，技能および態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．口臭の客観的測定法を説明する。 ２．口臭の客観的測定法を実施する。 ３．口臭の官能検査法を実施する。 ４．口臭検査の結果をもとに診断する。 ５．口臭検査の診断に基づいてその対応を説明する。 ６．口臭の発生メカニズムについて説明する。 ７．口臭の予防法について説明する。 ８．口臭を訴える患者への精神的苦痛に配慮する。

保存科－３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs №.	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接：1－1),2)	前･後期	1～7	臨床実習	診療室	－	観察記録	必修ケース
安全性への配慮と危機管理：1－1）－(2)	前期	1～3	講義・臨床実習	講義室･診療室	40	観察記録	講義・自験ケース
	後期	1～3	臨床実習	診療室	－	観察記録	自験ケース
診察と検査技術：1－2）－(1)	前･後期	1	臨床実習	診療室	－	観察記録	必修ケース
診断・治療計画の立案：　1－2）－(2)	前･後期	1～7	講義	講義室	200	ディスカッション	講義
	前期	1～7	臨床実習	診療室	－	観察記録･ディスカッション･試験	必修ケース
	後期	1～7	臨床実習	診療室	－	観察記録･ディスカッション･試験	必修ケース
消毒：　1－2）－(3)	前期	1～3	臨床実習	診療室	－	観察記録	自験ケース
		1～3	示説・ロールプレイ	診療室	100	観察記録	相互実習
	後期	1～3	臨床実習	診療室	－	観察記録	自験ケース
診療記録等の作成：1－2）－(4)	前･後期	1，2	講義	講義室	40	レポート・ケーススタディ	講義
	前期	1，2	臨床実習	診療室	－	レポート	必修ケース・自験ケース
	後期	1，2	臨床実習	診療室	－	レポート	必修ケース・自験ケース
歯の硬組織疾患：2－1）－(1)	前期	1～8	講義	講義室	220	試験	講義
		1～8	臨床実習	診療室	－	レポート・ディスカッション観察記録・試験	必修ケース・自験ケース
		6	示説・ロールプレイ	診療室	120	観察記録	模型実習
	後期	1～8	講義	講義室	140	試験	講義
		1～8	臨床実習	診療室	－	レポート・ディスカッション観察記録・試験	必修ケース・自験ケース
歯周疾患：2－1）－(2)	前期	1～11	講義	講義室	220	試験	講義
		1～11	臨床実習	診療室	－	レポート・ディスカッション観察記録・試験	必修ケース・自験ケース
		6	示説・ロールプレイ	診療室	120	観察記録	相互実習
	後期	1～11	講義	講義室	140	試験	講義
		1～11	臨床実習	診療室	－	レポート・ディスカッション観察記録・試験	必修ケース・自験ケース
歯髄・根尖性歯周組織疾患：2－1）－(3)	前期	1～7	講義	講義室	220	試験	講義
		1～7	臨床実習	診療室	－	レポート・ディスカッション観察記録・試験	必修ケース・自験ケース
		4，6	示説・ロールプレイ	診療室	120	観察記録	模型実習
	後期	1～7	講義	講義室	140	試験	講義
		1～7	臨床実習	診療室	－	レポート・ディスカッション観察記録・試験	必修ケース・自験ケース
口腔保健指導と予防処置：　2－2）－(1)	前期	1～8	講義	講義室	60	試験	講義
口臭の診断と対応：2－2）－(2)	後期	1～8	講義	講義室	40	試験	講義
		1～8	示説・ロールプレイ	診療室	30	レポート・試験	相互実習（口臭測定）
基礎系知識の確認：2－1),2)	前期	2-1)~2)	講義	講義室	30	－	講義
	後期	2-1)~2)	課題作成	講義室	30	－	課題作成

合格基準

全必修項目を満たさなければならない。

試験に合格しなければならない。（試験とは口頭試問および客観試験をいう。）

保存科－４

臨床実習リクアイヤメント

項　　目	実施期間	ＧＩＯ	SBOs №.	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
●レポート＆ ディスカッション							
歯内療法学 ケースディスカッション	前・後期	1－2)－(2) 2－1)－(3)	1～7 1～7	ディスカッション	症例	自己評価・ ディスカッション	1
歯周病療法 ケースディスカッション	前・後期	1－2)－(2) 2－1)－(2)	1～7 1～11	ディスカッション	症例	自己評価・ ディスカッション	1
保存修復学 ケースディスカッション	前・後期	1－2)－(2) 2－1)－(1)	1～7 1～8	ディスカッション	症例	自己評価・ ディスカッション	1
●必修ケース							
医療面接・検査	前期	1－1)－(1) 1－2)－(1) 1－2)－(2) 1－2)－(3) 1－2)－(4) 2－1)－(1) 2－1)－(2) 2－1)－(3)	1～7 1 1～7 1～3 1 1～3 1～3 1	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
抜髄法	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(3)	1 4	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
根管処置 （形成・清掃・消毒）	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(3)	1 4	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
根管充塡	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(3)	1 4	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
顕微鏡処置	前・後期	2－1)－(3)	4	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
歯周組織検査	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(2)	1 1～3,7	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
治療計画の立案	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(2)	1 5	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
ブラッシング指導	前・後期	1－2)－(4) 2－2)－(1)	1 3，4	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
スケーリング・ルートプレーニング／歯周ポケット掻爬	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(2)	1 6	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
歯周外科	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(2)	1，2 8	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
メインテナンス／SPT	前・後期	1－2)－(4) 2－1)－(2) 2－2)－(1)	1 9，10 1～8	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
直接修復	前・後期	1－2)－(3) 1－2)－(4) 2－1)－(1)	1～3 1 1～6,8	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
間接修復	前・後期	1－2)－(3) 1－2)－(4) 2－1)－(1)	1～3 1，2 1～8	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1
象牙質知覚過敏処置	前・後期	1－2)－(3) 1－2)－(4) 2－1)－(1)	1～3 1 1～6,8	臨床実習	患者	レポート・ 観察記録	1

保存科－５

項　　目	実施期間	ＧＩＯ	SBOs №.	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
●自験ケース							
・歯内療法学分野							
抜髄法	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(3)	1 ～ 3 1～4, 6	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
感染根管治療	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(3)	1 ～ 3 1～4, 6	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
根管充塡	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(3)	1 ～ 3 3, 4, 6	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
・歯周療法学分野							
ブラッシング指導	前・後期	1－2)－(3) 2－2)－(2)	1 ～ 3 2～5, 7	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
スケーリング・ ルートプレーニング	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(2)	1 ～ 3 2, 4, 6	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
メインテナンス・SPT	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(2)	1 ～ 3 3, 4, 7, 9, 10	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
・保存修復学分野							
コンポジットレジン修復 （単純／複雑）	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(1)	1 ～ 3 2～6, 8	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
象牙質知覚過敏処置	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(1)	1 ～ 3 1～6, 8	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1
補修修復	前・後期	1－2)－(3) 2－1)－(1)	1 ～ 3 2～6, 8	臨床実習 （模型実習）	患者	レポート・ 観察記録	1

※合格基準に満たなかった項目については模型実習もしくは相互実習をもって代替する。

保存科－６

前期臨床実習評価方法

ＧＩＯ：保存治療に関する基本的な知識，技能を理解する。

評価項目	評価法	評価割合	実施時期	評価時期
１．臨床実習ケース				
１）必修ケース	レポート（観察記録）	10%	前・後期	前期臨床実習終了時
２）累積ケース数	診療参加ケース数	10%	前・後期	前期臨床実習終了時
２．自験ケース※				
１）歯内療法学分野	レポート，観察記録	10%	前・後期	前期臨床実習終了時
２）歯周療法学分野	レポート，観察記録	10%	前・後期	前期臨床実習終了時
３）保存修復学分野	レポート，観察記録	10%	前・後期	前期臨床実習終了時
３．試験成績	客観試験	20%	前期	前期臨床実習終了時
	口頭試問	20%	前期	前期臨床実習終了時
４．出席		10%	前期	前期臨床実習終了時
総合評価		100%		

※自験ケースに関しては各分野より，１つ以上実地ケースを行うこと。

１．各項目の評価点数（前期）

１）臨床実習ケース；

① 必修ケース（見学＋知識確認レポート）

見学）評価基準；Ａ＝４点，Ｂ＝３点，Ｃ＝２点，Ｄ＝１点

Ａ：診療内容の記載およびレポート内容が把握できた。

Ｂ：指導下にできた（担当医の指導の下で診療内容記載およびレポート内容が把握できた)。

Ｃ：再三の指導下にできた。

Ｄ：全くできなかった。

必修ケースを見学できなかった場合，評価は上限Ｂとする。

レポート）担当医局員とディスカッションし，評価する。（６点満点）

② 累積ケース数

各班の平均ケース数を７として，相対的に評価する。

２）自験ケース；

レポート（自験ケース臨床実習帳)，観察記録

評価対象；術前・術後レポート

評価基準；５，４，３，２，１点

但し，自験ケースを行えなかった場合は，ケース補充を受ける。

３）試験成績；客観試験および口頭試問の結果の平均点（10点満点）とする。

４）出席；遅刻・欠席日数に応じて減点する。

２．合格判定（前期）

評価項目をすべて実施した上で総合評価が67％以上でなければならない。

１）必修ケース；各ケースの評価点数の平均が6.7点以上でなければならない。

２）自験ケース；１つ以上のケースを満たさなければならない。

３）試験成績が合格基準に達していなければならない。

保存科－７

後期臨床実習評価方法

ＧＩＯ：基本的な保存治療を行うための，知識，態度および技能を修得する。

評価項目	評価法	評価割合	実施時期	評価時期
１．臨床実習ケース				
１）必修ケース	レポート（観察記録）	10%	前・後期	後期臨床実習終了時
２）累積ケース数	診療参加ケース数	10%	前・後期	後期臨床実習終了時
２．自験ケース※				
１）歯内療法学分野	レポート，観察記録	10%	前・後期	後期臨床実習終了時
２）歯周療法学分野	レポート，観察記録	10%	前・後期	後期臨床実習終了時
３）保存修復学分野	レポート，観察記録	10%	前・後期	後期臨床実習終了時
３．試験成績	客観試験	20%	後期	後期臨床実習終了時
	口頭試問	20%	後期	後期臨床実習終了時
４．出席		10%	後期	後期臨床実習終了時
総合評価		100%		

※自験ケースに関しては前期に行えなかった実習内容を行う。

１．各項目の評価点数（後期）

１）臨床実習ケース；

① 必修ケース（見学＋知識確認レポート）

見学）評価基準；Ａ＝４点，Ｂ＝３点，Ｃ＝２点，Ｄ＝１点

Ａ：診療内容の記載およびレポート内容が把握できた。

Ｂ：指導下にできた（担当医の指導の下で診療内容記載およびレポート内容が把握できた)。

Ｃ：再三の指導下にできた。

Ｄ：全くできなかった。

必修ケースを見学できなかった場合，評価は上限Ｂとする。

レポート）担当医局員とディスカッションし，評価する。（６点満点）

② 累積ケース数

各班の平均ケース数を７として，相対的に評価する。

２）自験ケース；

レポート（自験ケース臨床実習帳），観察記録

評価対象；術前・術後レポート

評価基準；５，４，３，２，１点

但し，自験ケースを行えなかった場合は，ケース補充を受ける。

３）試験成績；客観試験および口頭試問の結果の平均点（10点満点）とする。

４）出席；遅刻・欠席日数に応じて減点する。

２．合格判定（後期）

評価項目をすべて実施した上で総合評価が67％以上でなければならない。

１）必修ケース；各ケースの評価点数の平均が6.7点以上でなければならない。

２）自験ケース；すべてのケースを満たさなければならない。

３）試験成績が合格基準に達していなければならない。

補綴科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 立案した治療計画や，装着予定の製作物などは事前に指導医（学生インストラクター）に提示して確認を受ける。

② 受け持ち患者さんに対する当日の治療内容と必要な器具・材料の確認。

③ 患者さんを診療室に案内し，ユニットに座ってもらう。

④ 当日の患者さんの状態，検査結果，治療計画・治療内容について指導医とディスカッションを行い，フィードバックを受ける。

⑤ 治療計画に沿って診療を行う。診療終了時に指導医の確認を受ける。

⑥ 指導医とともに患者さんへの病態の説明に参加する。

⑦ 使用した器具・材料の後片付けを行う。

補綴科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基礎を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる。 ３．来院の動機と主訴を聞き取り，記述ができる。 ４．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 ５．時系列に現病歴を聞き取り，記述ができる。 ６．プライバシーへの配慮ができる。 ７．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理について基礎的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医療事故防止のための対策について説明できる。 ２．医療事故発生時の対応法について説明できる。 ３．危機管理マニュアルに沿った対応ができる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：正しい診断・治療を行うために，必要な診察と検査・管理に関する知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察と検査によって得られた情報を記録できる。 ２．他科・医科との対診の必要性を判断できる。 ３．口腔・顔面の写真撮影ができる。 ４．咬合接触検査ができる。 ５．咀嚼機能検査ができる。 ６．口腔機能低下症患者に対する口腔機能管理ができる。 ７．高齢者に対する栄養・食事指導ができる。
⑵　診断・治療計画の立案	ＧＩＯ：個々の患者に適した治療を行うために，基礎的な歯科疾患についての診断能力を身につけ，治療計画立案の方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察および検査結果から問題点を抽出できる。 ２．問題点の重要性を判定できる。 ３．診断名を推定できる。 ４．診断理由を述べることができる。 ５．診断名に対する治療法を列挙できる。 ６．治療方法に関する情報収集ができる。 ７．治療計画を立てることができる。
⑶　消毒・滅菌	ＧＩＯ：歯科医療を安全に行うために，感染予防に必要な消毒・滅菌の知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．standard precautions を実施できる。 ２．手指，器具および技工物などの消毒・滅菌を実施できる。 ３．補綴関連の処置に関わる器材等の準備ができる。 ４．補綴関連の処置に関わる器材等の整理ができる。 ５．補綴関連の処置に関わる器材等の廃棄ができる。
⑷　指示書等の作成	ＧＩＯ：診療を進めるために，診療記録と各種指示書の作成法を身につける。 ＳＢＯｓ：１．診療記録の記載ができる。 ２．技工指示書の内容を説明できる。

補綴科－２

項　目	教　育　目　標
２．疾患別基本治療技能	
１）歯の欠損	
ＧＩＯ：歯の欠損の治療のために，可撤性義歯による補綴治療についての基本的な知識，技能，態度および歯科技工の知識，技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．概形印象採得ができる。 ２．研究用模型の製作ができる。 ３．診断ができる。 ４．治療計画の立案ができる。 ５．個人トレーの製作ができる。 ６．可撤性義歯の印象採得ができる。 ７．作業用模型の製作ができる。 ８．局部床義歯の設計ができる。 ９．咬合床の製作ができる。 10. 可撤性義歯の咬合採得ができる。 11. 咬合器調整ができる。 12. 適切な人工歯選択ができる。 13. 技工指示書の作成ができる。 14. ろう義歯の試適ができる。 15. 可撤性義歯の装着ができる。 16. 義歯の取り扱い方法，残存歯の清掃方法について患者に指導ができる。 17. 可撤性義歯装着後の変化に対応ができる。 18. 可撤性義歯の術後管理のため，床破折の修理についての技能を修得する。 19. 可撤性義歯の術後管理のため，人工歯脱離の修理についての知識，技能を修得する。	
２）歯質・歯の欠損	
ＧＩＯ：歯質・歯の欠損治療のために，固定性装置による補綴治療についての基本的な知識，技術，態度および歯科技工の知識，技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．概形印象採得ができる。 ２．研究用模型の製作ができる。 ３．治療計画の立案ができる。 ４．個人トレーの製作ができる。 ５．支台築造ができる。 ６．クラウンブリッジの支台歯形成ができる。 ７．プロビジョナルクラウンの製作ができる。 ８．クラウンブリッジの印象採得ができる。 ９．クラウンブリッジの咬合採得ができる。 10. 作業用模型の製作ができる。 11. 採得された咬合関係を咬合器に再現することができる。 12. 色調選択ができる。 13. 技工指示書の作成ができる。 14. クラウンブリッジの試適・装着ができる。 15. クラウンブリッジ装着時の患者指導ができる。 16. 残存歯の清掃方法について患者に指導ができる。 17. メインテナンスができる。	

補綴科－３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOsNo.	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接： 1－1)－(1)	前期	1～7	講義	水道橋：講義室	60	観察記録	臨床講義
		1～7	臨床実習	水道橋：診療室	－	観察記録	予診 患者担当時
	後期	1～7	臨床実習	水道橋：診療室	－	観察記録	
安全性への配慮と危機管理： 1－1)－(2)	前期	1～3	講義・実習・ シミュレーション実習	水道橋：診療室, 講義室 外部ラボ	20 (講義)	観察記録	自験ケース シミュレーション実習
	後期	1～3	臨床実習	水道橋：診療室	－	観察記録	自験ケース シミュレーション実習
診察と検査技術： 1－2)－(1)	前期	1～5	臨床実習	水道橋：診療室	－	観察記録 レポート	一般担当ケース 自験ケース 口腔機能検査実習
	後期	1～5	臨床実習・相互実習	水道橋：診療室	90 (講義)	観察記録 レポート	一般担当ケース 自験ケース 無歯顎顎堤診査実習
診断・治療計画の立案： 1－2)－(2)	前期	1～7	講義・臨床実習	水道橋：診療室, 講義室	90 (講義)	レポート	一般担当ケース 自験ケース
	後期	1～7	講義・臨床実習・ 相互実習	水道橋：診療室, 講義室	90 (講義)	レポート	一般担当ケース 自験ケース カメラ実習
消毒・滅菌： 1－2)－(3)	前期	1～5	講義・臨床実習	水道橋：診療室, 講義室	45 (講義)	－	一般担当ケース 自験ケース
	後期	1～5	講義・臨床実習	水道橋：診療室, 講義室	45 (講義)	－	一般担当ケース 自験ケース
指示書等の作成： 1－2)－(4)	前期	1～2	臨床実習	水道橋：診療室, 講義室	45 (講義)	観察記録	一般担当ケース
	後期	1～2	臨床実習	水道橋：診療室, 講義室	60 (講義)	観察記録	一般担当ケース 基礎系複合講義
歯の欠損：　2－1)	前期	1～19	臨床講義・臨床実習・ シミュレーション実習	水道橋：診療室, 講義室 外部ラボ	120 (講義)	観察記録 レポート 口頭試問 客観試験	シミュレーション実習 一般担当ケース 自験ケース 咬合器調整実習
	後期	1～19	臨床講義・臨床実習・ 相互実習 ケーススタディ・ テーマディスカッション	水道橋：診療室, 講義室 外部ラボ	120 (講義)	観察記録 レポート 口頭試問 客観試験	テーマディスカッション 一般担当ケース 自験ケース 局部床義歯設計実習
歯質・歯の欠損： 2－2)	前期	1～18	臨床講義・臨床実習・ シミュレーション実習	水道橋：診療室, 講義室 外部ラボ	60 (講義)	観察記録 レポート 口頭試問 客観試験	シミュレーション実習 一般担当ケース 自験ケース
	後期	1～18	臨床講義・臨床実習・ テーマディスカッション	水道橋：診療室, 講義室 外部ラボ	60 (講義)	観察記録 レポート 口頭試問 客観試験	テーマディスカッション 一般担当ケース 自験ケース

補綴科－４

項　　目	実習期間	SBOs No.	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
可撤性義歯の製作：2－1)	前期	2, 5, 7, 9, 11, 12	講義・技工操作	水道橋：学生ラボ	120（講義）	観察記録 レポート	自験ケース 咬合器調整実習
	後期	2, 5, 7, 9, 11, 12	講義・技工操作	水道橋：学生ラボ	120（講義）	観察記録 レポート	自験ケース 局部床義歯設計実習
歯冠補綴装置の製作：2－2)	前期	2, 4, 5, 8, 11, 12	講義・技工操作	水道橋：学生ラボ	120（講義）	観察記録 レポート 口頭試問	自験ケース
	後期	2, 4, 5, 8, 11, 12	講義・技工操作	水道橋：学生ラボ	120（講義）	観察記録 レポート 口頭試問	自験ケース

補綴科－５

臨床実習リクアイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法
●ディスカッション						
・テーマディスカッション（有床義歯症例）	前・後期	2－1)	8，11	スモールグループディスカッション	レポート	レポート
・テーマディスカッション（クラウンブリッジ症例）	前期	2－2)	3	スモールグループディスカッション	レポート	レポート
・ポートフォリオディスカッション	前・後期	全て	全て	スモールグループディスカッション	ポートフォリオ	観察記録
●自験ケース						
・一般	前・後期	1－2)－(1)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・有床義歯症例	前・後期	2－1)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・クラウンブリッジ症例	前・後期	2－2)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
●一般担当ケース						
・総義歯	前・後期	2－1)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・局部床義歯	前・後期	2－1)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・ブリッジ	前・後期	2－2)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・前歯部歯冠補綴	前・後期	2－2)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・臼歯部歯冠補綴	前・後期	2－2)	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・有床義歯症例の術後管理およびその他	前・後期	2－1)	17～19	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
・クラウンブリッジの術後管理およびその他	前・後期	2－2)	18	臨床実習 ケーススタディ	患者	観察記録 レポート
●相互実習・シミュレーション実習						
・口腔機能検査実習	前期	1－2)－(1)	4，5	講義 実習	学生	観察記録
・シミュレーション実習（支台築造・支台歯形成実習）	前・後期	2－2)	5～7	シミュレーション	マネキン	観察記録
・咬合器調整実習	後期	2－1)	11	シミュレーション	模型・咬合器	観察記録 レポート
・無歯顎顎堤診査実習	後期	1－2)－(1)	1	講義 演習	模型	観察記録
・局部床義歯設計実習	前期	2－1)	8	講義 相互実習	学生	観察記録

補綴科－６

臨床実習評価基準

評価項目	評価方法	評価割合
前期試験成績点	客観試験・口頭試験	25%
後期試験成績点	客観試験・口頭試験	25%
自験点	レポート・観察記録	25%
一般担当点	レポート・観察記録・ケース数	25%
総合点		100%

＜合格基準＞
次の各項を満たしたものを合格とする。
①総合点が6.7以上であること。
②前期試験成績点が6.7以上であること。
③後期試験成績点が6.7以上であること。
④指定ケースがすべて終了していること。
⑤自験ケースがすべて終了していること。
⑥一般担当ケースが基準症例数以上であること。
⑦相互実習をすべて履修していること。
⑧テーマディスカッションをすべて履修していること。

＜備考＞
１．見学必須・自験準備ケース
通年で下記の区分につき，それぞれ指定症例数以上の見学・ディスカッションを必須とする。
１）有床義歯補綴症例
①精密印象採得（筋圧形成）
②咬合採得
③試適
④装着，調整
⑤修理
⑥顎顔面欠損補綴治療
２）クラウンブリッジ症例
①支台歯形成
②精密印象採得（光学印象を含む）
③咬合採得
④試適，調整
⑤合着
３）一般
①咬合紙を用いた咬合接触検査
②咀嚼機能検査
③舌圧検査
④口腔機能低下症患者に対する口腔機能管理
⑤高齢者に対する栄養・食事指導（栄養ケアステーションへの同行を含む）

２．自験ケース
通年で下記の区分につき，それぞれ指定症例数以上を実施する。
１）共通項目
①口腔・顔面の写真撮影
②咬合検査
③咀嚼能率検査
２）有床義歯症例
①概形印象採得
②研究用模型製作
③診断と治療計画立案
④個人トレー製作

⑤筋圧形成・精密印象採得
⑥作業用模型製作
⑦局部床義歯の設計
⑧咬合床製作
⑨咬合採得・咬合器調整
⑩人工歯選択
⑪技工指示書の作成
⑫ろう義歯試適
⑬装着
⑭装着時の患者指導
⑮メインテナンス
⑯義歯修理

3）クラウンブリッジ症例
①概形印象採得
②研究用模型製作
③診断と治療計画立案
④個人トレー製作
⑤支台築造
⑥クラウンブリッジ支台歯形成
⑦プロビジョナルレストレーション
⑧精密印象採得
⑨咬合採得
⑩作業用模型製作
⑪色調選択
⑫技工指示書の作成
⑬装着
⑭装着時の患者指導
⑮メインテナンス

3．相互実習・シミュレーション実習・ディスカッション
下記の受講を必須とする。

1）前期
①口腔機能検査実習
②支台歯形成実習
③局部床義歯設計実習
④ポートフォリオディスカッション

2）後期
①無歯顎顎堤診査実習
②支台築造・支台歯形成実習
③咬合器調整実習（下顎運動検査）
④ポートフォリオディスカッション

3）通年
テーマディスカッション

口腔外科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 立案した治療計画は事前に指導医（学生インストラクター）に提示して確認を受ける。

② 担当する患者さんの当日の治療内容と必要な器具・器材の確認。

③ 患者を確認し診療台に誘導・案内する。

④ 当日の患者さんの状態，検査結果，治療計画・治療内容について指導医とディスカッションを行い，フィードバックを受ける。

⑤ 治療計画に沿って診療を行う。診療終了時に指導医のフィードバックを受ける。

⑥ 指導医による患者さんへの病状の説明を立ち会う。

⑦ 患者さんの診療終了時には，当日行った診療内容について資料録（ケースレポート）に記載する。資料録（ケースレポート）は必ず指導医が，確認し捺印を行う。

⑧ 医療安全に配慮して使用した器具・器材の後片付けを行う。

口腔外科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）医療面接	
	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために，医療面接の基本を習得する。 ＳＢＯｓ：１　患者と術者の良好な位置関係がとれる。 ２　挨拶など社会人としての対応がとれる。 ３　患者家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し，適切に対応できる。 ４　歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ５　診療の流れを説明できる。 ６　治療方針の説明，再診の約束ができる。 ７　患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。 ８　的確な病歴聴取（現病歴，既往歴，家族歴等）を行い，必要な部分を抽出できる。
２）基本的診療	
⑴　基本的診査	ＧＩＯ：口腔・顎・顔面の診査，診断，治療を行うために，基本的な診査の知識，技能を身につける。 ＳＢＯｓ：１　患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。 ２　的確な病歴聴取（現病歴，既往歴，家族歴等）を行い，必要な部分を抽出できる。 ３　視診，触診，打診等から患者の現症を的確に捉えることができる。 ４　基本的診査方法と診断との関連を説明できる。 ５　歯科疾患と全身との関連を理解し説明できる。 ６　歯科ユニットを的確に操作できる。 ７　基本的診査により必要な検査を想定できる。 ８　診査に必要な器材を準備できる。 ９　適切に血圧を測定できる。 10　他科・医科との対診の必要性を判断し，照会状の記載について説明できる。 11　各種の臨床検査によって得られた情報を解釈し説明できる。
⑵　診療器具の管理・扱い方	ＧＩＯ：診療器具の安全で正しい管理，扱いができるようになるために，基本的な知識，技能を身に付ける。 ＳＢＯｓ：１　使用する診療器具を準備できる。 ２　診療器具の正しい扱いができる。 ３　診療器具の使用によって起こる危険性を説明できる。 ４　診療器具使用後のかたづけ，保守・管理ができる。
⑶　診療書類の作成（診療録，処方箋）	ＧＩＯ：歯科医師法および関連法規に基づいた診療に関連する書類を正しく作成するために，基本的な知識を身に付ける。 ＳＢＯｓ：１　劇薬・毒薬および麻薬等の表示と保管について説明できる。 ２　処方箋の記載法を説明できる。 ３　対診書，返書の記載法を説明できる。 ４　患者からの情報を整理し，必要な事項を記録することができる。
⑷　管理周術期	ＧＩＯ：管理を正しく理解し実践するために，基本的な知識を身に付ける。 ＳＢＯｓ：１　術後の生体反応について説明できる。 ２　術後経過と病態生理の関係について説明できる。 ３　創傷の治癒過程を説明できる。 ４　術後の観察ポイントを説明できる。 ５　術後の偶発症，継発症を列挙し，それに対する処置法を説明できる。

口腔外科－２

項　目	教　育　目　標
(5) 抜歯	
	ＧＩＯ：適切かつ安全に抜歯を行うために，基本的な知識，態度，抜歯法を身に付ける。
	ＳＢＯｓ：1　患者ならびに抜歯部位の確認を行うことができる。
	2　滅菌と消毒を説明できる。
	3　抜歯の適応症について説明できる。
	4　抜歯の禁忌症について説明できる。
	5　抜歯に関する注意すべき事項，継発症に対する処置法を説明できる。
	6　症例に応じた器具を選択できる。
	7　患者の不安を緩和し，適切な声かけを行うことができる。
	8　抜歯部位に合わせて患者の体位を設定できる。
	9　術者の正しい姿勢・ポジションをとることができる。
	10　適切な抜歯手順を説明できる。
	11　抜歯手順を適切に実施できる。
	12　器具を正確に操作できる。
	13　縫合法の種類を列挙し，その適応を説明できる。
	14　症例に応じた縫合を行うことができる。
	15　適切な抜糸ができる。
	16　抜歯後の注意を行うことができる。
	17　埋伏智歯の抜歯法を説明できる。
	18　難抜歯の介補を円滑に行うことができる。
２．疾患別基本知識	
	ＧＩＯ：与えられた症例に対し的確な診査，診断，治療を行うために必要な知識を修得する。
	ＳＢＯｓ：1　全身状態を評価できる。
	2　鑑別疾患をあげて，その診断方法を説明できる。
	3　診断に必要な検査方法を選択できる。
	4　画像検査の所見を述べることができる。
	5　得られた情報から診断し，治療法を列挙できる。
	6　症例に応じた適切な治療方針を立案できる。

口腔外科－３

臨床実習実施方法

水道橋・千葉

項　　目	実習期間	SBOs №.	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接： 1－1)－(1)	前期	1～8	ロールプレイ	診療室	60		医療面接
	前期･後期	1～8	臨床実習	診療室	60	チェックシート	医療面接実習
基本的診査： 1－2)－(1)	前期･後期	1～11	臨床講義	診療室	60	チェックシート	基本的診査実習
診療器具の管理・扱い方：　1－2)－(2)	前期	3	臨床講義	診療室	90	客観テスト	
診療書類の作成： 1－2)－(3)	前期	1～4	臨床講義	6階 会議室	120	客観テスト	
	前期	2～4	ケーススタディ	実習室		シミュレーションテスト	診療書類の作成, シミュレーション
縫合・抜糸	前期	14, 15	臨床実習	診療室	10	チェックシート	縫合・抜糸
抜歯	後期	1～17	講義	6階 会議室	360	客観テスト	
	後期	6～16	ロールプレイ	外来			抜歯実習
疾患別基本知識：２	前期	1～6	講義	6階 会議室	30	客観テスト	
	前期	1～6	臨床実習（手術見学）	病棟	180	ポートフォリオ･ 口頭試問	手術見学
	前期	1～6	疾患別課題	自宅		ポートフォリオ･ 口頭試問	
	後期	1～6	臨床実習（手術参加）	病棟	180	ポートフォリオ･ 口頭試問	手術参加
	後期	1～6	疾患別課題	自宅		ポートフォリオ･ 口頭試問	

口腔外科－４

臨床実習リクワイヤメント１　水道橋

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法・方略	媒　体	評価方法	ケース数
必須ケース							
医療面接	前期	1－1)－(1)	1～8	ロールプレイ	学生		
	後期			臨床実習	患者	チェックシート	(1, 1)
基本的診察	前期	1－2)－(1)	1～11	臨床講義		チェックシート	(1, 1)
	後期			臨床講義		客観試験	
診療器具の管理・扱い方	前期			臨床講義		客観試験	
診療書類の作成	前期・後期	1－2)－(3)	1～4	臨床講義		観察記録	
	前期			ケーススタディ			
周術期管理	後期	1－2)－(4)	1～5	臨床実習		シミュレーションテスト	
抜歯	後期	1－2)－(5)	1～18	臨床実習		チェックシート	
				ロールプレイ	マネキン		
疾患別基本知識	前期・後期			臨床実習		ポートフォリオ・口頭試問	

臨床実習リクワイヤメント２　水道橋

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法・方略	媒　体	評価方法	ケース数
実習							
・医療面接	前期	1－1)－(1)	1～8	ロールプレイ	学生		1
	前期			臨床実習	患者	チェックシート	2
・頭頸部の診察	前期	1－2)－(1)	1～11	臨床実習	患者	チェックシート	2
・縫合	前期	1－2)－(5)	14	臨床実習		チェックシート	2
・抜糸	前期	1－2)－(5)	15	臨床実習		チェックシート	2
・抜歯	後期	1－2)－(5)	1～18	ロールプレイ	学生		1
・術前・後口腔清掃	後期	1－2)－(4)	1～5	臨床実習		チェックシート	適宜
口頭試問							
・疾患別基本知識	前期・後期	2	1～6			口頭試問	
SGD（small group discussion）							
・疾患別基本知識	前期・後期	2	1～6	ケーススタディ	スライド	チェックシート	
客観試験							
・疾患別基本知識	前期・後期	2	1～6	臨床実習		客観試験	
・基本的診察	前期	1－2)－(1)	1～11	臨床実習		客観試験	
・診療器具の管理・扱い方	前期	1－2)－(2)	1～4	臨床実習		客観試験	
・診療書類の作成	前期	1－2)－(3)	1～4	臨床実習		客観試験	
・抜歯	後期	1－2)－(5)	1～18	臨床実習		客観試験	
・口腔内消炎手術	後期	1－2)－(6)	1～6	臨床実習		客観試験	
実習							
・疾患別基本知識	前期・後期	1－2)－(2)	1～6	臨床実習	スライド	客観試験・ポートフォリオ	

臨床実習リクワイヤメント１　千葉

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法・方略	媒　体	評価方法	ケース数
必須ケース							
医療面接	後期			臨床実習	患者	ディスカッションレポート	適宜
基本的診察	後期	1－2)－(1)	1～11	臨床実習		ディスカッションレポート	適宜
抜歯	後期	1－2)－(5)	1～18	臨床実習		ディスカッションレポート	適宜
疾患別基本知識	前期・後期			臨床実習		ポートフォリオ・口頭試問	

臨床実習リクワイヤメント２　千葉

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法・方略	媒　体	評価方法	ケース数
実習							
・医療面接	後期	1－1)－(1)	1～8	臨床実習		ディスカッションレポート	適宜
・頭頸部の診察	後期	1－2)－(1)	1～11	臨床実習		ディスカッションレポート	適宜
・縫合	後期	1－2)－(5)	14	臨床実習		ディスカッションレポート	適宜
・抜糸	後期	1－2)－(5)	15	臨床実習		ディスカッションレポート	適宜
・疾患別基本知識	前期・後期	2	1～6	臨床実習		ポートフォリオ・口頭試問	6

口腔外科－５

臨床実習評価方法

前　期

評価項目	評価方法	評価割合	備　　考
症例検討			
・診療書類の作成	シミュレーションテスト		
実習			
・医療面接	チェックシート		チェックシート＃１参照
・頭頸部の診査	チェックシート		チェックシート＃３参照
・縫合・抜糸	チェックシート		チェックシート＃２参照
・臨床検査実習	チェックシート		チェックシート＃４参照
ポートフォリオ		10%	
・疾患別基本知識	ポートフォリオ		
口頭試問		30%	
・疾患別基本知識	口頭試問		
客観試験		25%	
・基本的診査	客観試験		
・診療器具の管理・扱い方	客観試験		
・診療書類の作成	客観試験		
・疾患別基本知識	客観試験		
リクアイヤメント	リクアイヤメント帳	35%	
出席	出席日数		適宜評価とする。
総合評価		100%	

後　期

評価項目	評価方法	評価割合	備　　考
症例検討			
・手術後管理	ケースレポート		
・疾患別基礎知識	ケースレポート		
実習			
・手術参加	ケースレポート		
・臨床検査実習	チェックシート		チェックシート＃４参照
ポートフォリオ		10%	
・疾患別基本知識	ポートフォリオ		
口頭試問		30%	
・疾患別基本知識	口頭試問		
客観試験		25%	
・抜歯	客観試験		
・口腔内消炎手術	客観試験		
・疾患別基本知識	客観試験		
リクアイヤメント	リクアイヤメント帳	15%	
出席	出席日数		適宜評価とする。
総合評価		100%	

口腔外科－６

＃１　提出ポートフォリオの内容および評価基準

前期：学習到達目標に挙げた各項目について診断と治療に必要な知識を問う課題

後期：学習到達目標に挙げた各項目について臨床で遭遇する機会が多い症例を呈示し，それについて診断から治療に至る内容を問う課題

ポートフォリオ（前期・後期）の評価基準は以下のとおり。

１点

２点

３点

４点　課題ポートフォリオを提出している。

５点　内容に誤った記載が多い。

６点　内容の大部分の不足（全体の３割程度の内容）

７点　内容の一部不足（全体の７割程度の内容）

８点　内容は詳細に記載されているが整理されていない。

９点　内容は詳細かつ整理されて記載されている。

10点

＃２　口頭試問の内容および評価基準

前期：提出レポートの課題について問う。

後期：提出レポートの課題について則した視覚資料を呈示し，それについて診断から治療について問う。

口頭試問（前期・後期）の評価基準は以下のとおり。

１点

２点

３点

４点　課題ポートフォリオをまとめて，提出している。

５点　疾患の分類，解剖，病理等の基本的事項をある程度誘導することで引き出すことができる。

６点　上記のことが自力で回答できる。
ポートフォリオの課題について，誘導することで解答が得られる。

７点　ポートフォリオの課題に沿った質問に対して，筋道だった妥当な解答が得られる。

８点　ポートフォリオの課題に沿った質問に対して，知識の裏付けをもった解答ができる。

９点　ポートフォリオの課題から派生した質問に対して，基礎科目の知識に裏付けされた解答が得られる。

10点

※合格基準

全必修項目を満たさなければならない。

口腔外科－７

チェックシート＃１

医　療　面　接

番　氏名

年　　月　　日実施　　担当医

	できた	できない
診察にふさわしい服装，身支度ができる （白衣着用の仕方，バッチ，清潔な手指，頭髪）	□	□
患者と術者の良好な位置関係がとれる （椅子の距離，机の置き方，体の方向）	□	□
挨拶など社会人としての対応がとれる （挨拶，相手の名前をフルネームで確認，自己紹介）	□	□
患者・家族の身体的および精神的苦痛を理解し適切に対応できる （同意，共感，間を持つ，車椅子などの身体状況に応じた対応）	□	□
患者・家族の社会的背景を理解し適切に対応できる （あいづち，うなづき，自由に話せる工夫，同伴者を在席させるかどうかの判断）	□	□
歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる （確認，まとめ，患者の話を理解する）	□	□
診療の流れを説明できる （言葉づかい，平易な用語，話すスピード）	□	□

口腔外科－８

チェックシート＃２

縫　合　・　抜　糸

番　氏名

縫　合　　年　月　日実施　　担当医

	できた	できない
ポジションを正しくとることができる	□	□
症例に応じた方法の選択が出来た	□	□
こま結びが正しくできた	□	□

抜　合　　年　月　日実施

	できた	できない
適切な消毒ができる	□	□
適切な抜糸ができる	□	□
適切な切断部位を選択できた	□	□
正しい剪刀の使い方ができた	□	□

チェックシート＃３

頭 頸 部 の 診 察

番　氏名

年　　月　　日実施　　担当医

	できた	できない
顎関節疾患の診断と治療に必要な筋肉の触診		
ポジションを正しくとることができる	□	□
声かけをして触診ができる	□	□
下顎頭外側の触診ができる	□	□
咬筋の触診ができる	□	□
内側翼突筋の触診ができる	□	□
側頭筋の触診ができる	□	□
疾患の診断と治療に必要な筋肉，臓器の触診		
ポジションを正しくとることができる	□	□
顔色，顔面の対象性を診査できる	□	□
声かけをして触診ができる	□	□
胸鎖乳突筋の触診ができる	□	□
顎下腺の触診ができる	□	□
顎下，オトガイ下リンパ筋の触診を行うことができる	□	□
診療の結果を記録し，指導医に報告できる	□	□

歯科麻酔科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 全身管理計画を指導医とディスカッションする。

② 受け持ち患者さんに対する当日の診療内容の確認，器具・器材の準備の介助を行う。

③ 患者さんを診療室に案内し，ユニットに座ってもらう。

④ 診療計画に沿って診療チームの一員として診療に参加する。

⑤ 指導医とともに患者さんへの病態の説明に参加する。

⑥ 診療内容について指導医とディスカッションする。

⑦ 次の患者さんがいるときは③から同様に繰り返す。

歯科麻酔科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理についてその知識と態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医療を行うにあたっての危険性を説明できる。 ２．医療事故の防止法について説明できる。 ３．医療事故防止のための対策について説明できる。 ４．医療事故発生時の対応方法について説明できる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：患者の病態を把握して正しい診察を行うために，必要な診断方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医科の他科との対診の必要性を判断できる。 ２．初診患者の問題点の抽出をできる。 ３．初診患者の問題点に対する対応策を立案できる。
⑵　局所麻酔	ＧＩＯ：無痛治療を安全に行うために，必要な局所麻酔の知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．器具と薬剤を選択できる。 ２．提示された症例に対して必要な局所麻酔法を選択できる。 ３．提示された症例に対して必要な局所麻酔法を実施できる。 ４．効果を判定できる。 ５．合併症の予防に必要な事項を判断できる。
２．疾患別の基本治療技能	
１）歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患	
⑴　心身障害（児）者の歯科診療	ＧＩＯ：障害者の歯科診療を行うために精神的，身体的特徴を考慮した対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．障害を考慮したコミュニケーションがとれる。 ２．全身状態を評価できる。 ３．歯科治療と全身管理の方針を立案できる。
⑵　高齢者の歯科診療	ＧＩＯ：高齢者の QOL の向上のために，精神的身体的特徴を考慮した基本的な対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．日常生活動作の評価ができる。 ２．提示された全身管理を必要とする症例の歯科治療を説明できる。
２）顎・口腔領域の疾患	
⑴　口腔領域の神経疾患・心因性病態	ＧＩＯ：口腔領域の神経疾患・心因性病態に関する基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診断名を推定できる。 ２．治療方針を立案できる。
３）全身管理および救急処置	ＧＩＯ：安全な歯科治療を行うために，全身管理と救急処置に関する知識と技能と態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．モニタリング機器を装着できる。 ２．提示された症例のバイタルサインを得ることができる。 ３．提示された症例の全身状態を評価できる。 ４．提示された症例の全身管理法を立案できる。 ５．静脈確保を行うことができる。 ６．一次救急処置を行うことができる。

歯科麻酔科－２（水道橋）

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs№	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
安全性への配慮と危機管理：　1－1）－(1)	前期	1～4	講義	示説室	60		
診査と検査技術：　1－2）－(1)	前期	1～3	講義	示説室	90	観察記録	
		1～3	臨床見学	診療室			
局所麻酔：　1－2）－(2)	前期	1～5	講義・ロールプレイ	示説室 診療室	90	観察記録	下顎孔伝達麻酔実習
心身障害（児）者の歯科診療：　2－1）－(1)	前期	1～3	臨床見学	診療室		観察記録	外来全身麻酔・鎮静法
						レポート	
	後期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	外来全身麻酔・鎮静法
						レポート	
高齢者の歯科診療：　2－1）－(1)	前期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	外来全身麻酔・鎮静法
						レポート	
	後期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	外来全身麻酔・鎮静法
						レポート	
顎･口腔領域の疾患：　2－2）－(1)	前期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	顎顔面領域のペインクリニック
	後期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	顎顔面領域のペインクリニック
						レポート	顎顔面領域のペインクリニック
全身管理および救急処置：　2－3）	前期	1	講義・ロールプレイ・シミュレーション	示説室 診療室	180	観察記録	モニタ装着実習・救急蘇生実習
		1～6	臨床見学	手術室		観察記録・レポート	手術室全身麻酔
		5	講義・ロールプレイ	示説室 診療室	90	観察記録	静脈確保実習
	後期	1～6	臨床見学	手術室		観察記録・レポート	手術室全身麻酔
		2～4	講義・シミュレーション	示説室	90	観察記録・レポート	歯科治療中の偶発症
周術期管理	前･後期		臨床見学	手術室 病棟	60	レポート	
疾患別基本知識	前期		臨床見学	診療室	180	レポート・口頭試問	
	後期		臨床見学	診療室	180	レポート	

歯科麻酔科－２（千葉）

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs№	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
心身障害（児）者の歯科診療：　2－1)－(1)	前期	1～3	臨床見学	診療室		観察記録	外来全身麻酔・鎮静
高齢者・有病者の歯科診療：　2－1)－(2)	前期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	外来全身麻酔・鎮静
顎・口腔領域の疾患：　2－2)－(1)	前期	1～2	臨床見学	診療室		観察記録	症例見学

歯科麻酔科－３

臨床実習リクワイヤメント

リクワイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法・方略	媒　体	評価方法	ケース数
●症例検討							
・障害者管理法	前・後期	2－1)－(1)	1～3	臨床見学	患者	レポート	1
・高齢者・有病者管理法	前・後期	2－1)－(2)	1～2	臨床見学	患者	レポート	1
・手術室管理法	前・後期	2－3)	3～4	臨床見学	患者	レポート	1
・ペインクリニック	前・後期	2－2)－(1)	1～2	臨床見学	患者	レポート	1
●実習							
・下顎孔伝達麻酔実習	前期	1－2)－(2)	1～5	ロールプレイ	学生	観察記録	1
・モニタ装着実習	前期	2－3)	1	ロールプレイ	学生	観察記録	1
・静脈確保実習	前期	2－3)	5	ロールプレイ	学生	観察記録	1
・救急蘇生法実習	前期	2－3)	6	シミュレーション	マネキン	観察記録	1
●症例見学							
・障害者外来全身麻酔	前期	2－1)－(1)	1～3	臨床見学	患者	観察記録	1
・高齢者・有病者鎮静法	前期	2－1)－(2)	1～2	臨床見学	患者	観察記録	1
・手術室全身麻酔	前・後期	2－3)	1～6	臨床見学	患者	観察記録	1
●口頭試問	前期	1－1)－(1)～2－3)					

歯科麻酔科－４

臨床実習評価方法

前　期

評価項目	評価方法	評価割合	備　　考
●症例検討		10%	
・精神鎮静法	レポート		
・全身麻酔	レポート		
・ペインクリニック	レポート		
●実習		10%	
・下顎孔伝達麻酔実習	観察記録		
・モニタ装着実習	観察記録		
・静脈確保実習	観察記録		
・救急蘇生実習	観察記録		
●症例見学		10%	
・精神鎮静法	観察記録		
・全身麻酔	観察記録		
・ペインクリニック	観察記録		
●口頭試問	口頭試問	70%	
総合評価		100%	

後　期

評価項目	評価方法	評価割合	備　　考
●症例見学		20%	
・精神鎮静法	観察記録		
・全身麻酔	観察記録		
・ペインクリニック	観察記録		
●隅発症シミュレーション	観察記録	20%	
●症例検討	レポート	60%	
総合評価		100%	

小児歯科・スペシャルニーズ歯科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 患者さんの状態について口腔内の診察を行い，口頭で指導医に提示し，検討する。

② 介補担当患者さんに対する当日の器具・器材の準備を行う。

③ 患者さんを診療室に案内し，ユニットに座ってもらう。

④「介補・見学ケース」は，指導医の患者さんの診療補助または見学を行う。

⑤「実地ケース」は，指導医の指示に従い診療を行い，ステップごとに指導医の確認を受ける。

⑥「実地ケース（必須項目）」は，小児歯科領域の特に重要な処置について術者として実際に行う。

⑦ 各ケースにおいては，指導医とともに患者さんおよび保護者への病態の説明に参加する。

⑧ 使用した器具・器材の後片付けを行う。

小児歯科・スペシャルニーズ歯科ー１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基本を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる。 ３．来院動機と主訴を聞き取り記述できる。 ４．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 ５．時系列に現病歴を聞き取り記述できる。 ６．プライバシーへの配慮ができる。 ７．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：正しい診療を行うために，必要な診察と検査に関する知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察によって得られた情報を記録できる。 ２．簡単な画像検査を実施できる。
⑵　診断・治療計画の立案	ＧＩＯ：個々の患者に適した治療を行うために，基本的な歯科疾患についての診断能力を身に付け，治療計画立案の方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診療および検査結果から，問題点を抽出できる。 ２．問題点の重要度を判定できる。 ３．診断名が推定できる。 ４．診断理由を述べることができる。 ５．診断名に対する診療法を列挙できる。 ６．治療方法に関する情報収集ができる。 ７．治療計画を立てることができる。
２．疾患別の基本治療技能	
１）口腔の発育異常・加齢に伴う疾患	
⑴　小児の歯科疾患	ＧＩＯ：口腔領域に発生する疾患や異常に対して，成長・発達を考慮した予防法と治療法の基本を修得する。 ＳＢＯｓ：１．小児の心身・口腔機能の成長・発達を評価できる。 ２．小児患者の一般的対応が行える。 ３．齲蝕・歯周疾患の予防処置が実施できる。 ４．乳歯・幼若永久歯の簡単な歯冠修復が実施できる。 ５．乳歯・幼若永久歯の簡単な歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療が実施できる。 ６．簡単な外科的処置ができる。 ７．咬合誘導装置の適切な説明ができる。 ８．口腔保健指導が実施できる。
２）歯・歯髄・歯周組織の疾患	
⑴　齲蝕	ＧＩＯ：齲蝕が原因で発生した障害の回復のために，齲蝕の基礎を理解し治療法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯冠修復に関する治療方針，術式などを説明できる。 ２．齲窩の処置を行える。 ３．簡単な修復処置を行える。
⑵　歯髄・根尖性歯周組織疾患	ＧＩＯ：基本的な歯内療法処置を行うための治療法の知識，技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察と検査の実施手順を説明できる。 ２．各疾患について基本的な治療方法を説明できる。 ３．各疾患に対する治療術式・治療経過を適切に説明できる。 ４．各処置に応じて器材・薬剤を選択でき，使用法を説明できる。 ５．防湿法，除痛法，根管清掃・貼薬などの基本的操作を行うことができる。 ６．各疾患を診断するための診察と検査が実施できる。 ７．齲窩の処置や髄室開拡など基本的な切削操作が実施できる。 ８．治療後の治癒について，病理組織学的に説明できる。 ９．疾患の概要と治療方針・治療経過を患者に説明できる。

項　目	教　育　目　標
3）歯科疾患の予防・管理	
⑴　口腔保健指導	
ＧＩＯ：セルフ・ケアの支援のための口腔保健指導を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．学習援助型の保健指導ができる。	
２．セルフ・ケアのための動機づけができる。	
３．口腔清掃指導ができる。	
４．食事指導（間食指導を含む）ができる。	
５．生活習慣に関する指導ができる。	
６．セルフ・ケアでのフッ化物応用の重要性を説明できる。	
７．定期的な健康管理の重要性を説明できる。	
⑵　口腔疾患の予防（個人口腔保健）	
ＧＩＯ：口腔保健状態を向上させるための予防処置（プロフェッショナル・ケア）を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．生活および保健行動の評価ができる。	
２．疾患の発病リスクを評価できる。	
３．フッ化物歯面塗布ができる。	
４．窩溝填塞法が実施できる。	
５．定期的な予防処置の重要性を説明できる。	
３．障害者への基本治療技能	
1）障害の種類と特徴および対応	
⑴　障害を有する患者への対応	
ＧＩＯ：各障害の身体的・心理的特徴，特徴の歯科的問題に対する知識や対応法を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．各障害の種類とその身体的特徴，歯科的特徴を説明できる。	
２．各障害への対応法を説明できる。	
３．各障害を有する患者の口腔管理の方法を説明できる。	

小児歯科・スペシャルニーズ歯科－３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs№	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接： 1－1)－(1)	前期	1～7	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1～7	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
検査と検査技術： 1－2)－(1)	前期	1，2	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1，2	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
診断・治療計画の立案：　1－2)－(2)	前期	1～7	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1～7	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
		1～7	SGD	学生控室	120	課題発表 口頭試問	客観試験１
小児の歯科疾患： 2－1)－(1)	前期	1～8	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	実地ケース
	後期	1～8	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	実地ケース
齲蝕：　2－2)－(1)	前期	1～3	講義	学生控室	30	筆記試験 口頭試問	客観試験１，２
		1～3	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1～3	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
歯髄・根尖性歯周組織疾患：2－2)－(2)	前期	1～9	講義	学生控室	30	筆記試験 口頭試問	客観試験１，２
		1～9	臨床実習	診療室		観察記録 客観試験	
	後期	1～9	臨床実習	診療室		観察記録 客観試験	
口腔保健指導： 2－3)－(1)	前期	1～7	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1～7	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
		1～7	シミュレーション	診療室		観察記録 口頭試問	
口腔疾患の予防： 2－3)－(2)	前期	1～5	講義	学生控室	30	筆記試験 口頭試問	客観試験１，２
		1～5	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1～5	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
障害を有する患者への対応　3－1)－(1)	前期	1～3	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	
	後期	1～3	臨床実習	診療室		観察記録 口頭試問	

小児歯科・スペシャルニーズ歯科ー４

臨床実習リクワイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
●見学・介補ケース							
前期		全範囲	全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	20
後期		全範囲	全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	20
●実地ケース							
前期		全範囲	全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	2
後期		全範囲	全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	2
●実地ケース（必須項目）							
前期		2－1）－(1)	1～8	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	3
後期		2－1）－(1)	1～8	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	3
●客観試験１							
前期		1－2）－(2) 2－1）－(1)	1～7 1～8			観察記録 口頭試問 筆記試験	2
後期		全範囲	全範囲			観察記録 口頭試問	1
●客観試験２							
前期		2－2）－(1) 2－2）－(2) 2－3）－(2)	1～3 1～9 1～5			筆記試験	1
後期		2－2）－(1) 2－2）－(2) 2－3）－(2)	1～3 1～9 1～5			口頭試問 筆記試験	1

※必須ケースは，前後期合計で５ケース以上とする。
※実地ケースは，必須項目を除き前・後期それぞれ２ケース以上とする。
※口頭試問は6.7点以上で合格とする。

小児歯科・スペシャルニーズ歯科－５

臨床実習評価方法（小児歯科）

評価項目	評価方法	評価割合
１．出席点		20%
２．見学・介補ケース		
前期	観察記録	20%
後期	観察記録	20%
３．実地ケース		
前期	観察記録 口頭試問	10%
後期	観察記録 口頭試問	10%
４．必須ケース		
前期（後期に合わせて評価する）	観察記録 口頭試問	
後期	観察記録 口頭試問	20%
５．客観試験１		
前期	口頭試問 筆記試験	30%
後期	課題発表 口頭試問	30%
６．客観試験２		
前期	筆記試験	20%

１．出席点
　前・後期：出席率80%以上の部分について評価する。
２．見学・介補ケース
⑴　内容
　前・後期：学生は指導医の診療の介補あるいは見学を行い診療に参加する。
⑵　評価
　介補見学合わせて20ケースを超えた部分について評価する。各患者の治療終了後，担当医からの質問に答えチェックを受けたものをケースとする。
３．実地ケース
⑴　内容
　前・後期：学生は術者として，指導医の介補のもと，指導医の患者の診療を行う。
　前・後期ともケース数に応じて評価する。
４．必須ケース
⑴　内容
　①前・後期：小児歯科の基本的な３種類の処置のうち，２種類以上について術者として実際に行う。
　②前・後期：小児歯科特有の４種類の処置のうち，３種類以上について，術者または介補者として診療を行う。
⑵　評価
　前・後期で必要な検印をうけているかを評価する。
５．客観試験１
⑴　内容
　前期：口腔内写真またはパノラマエックス線から得られる所見を説明する。
　後期：３～４人の学生を１グループとして，１症例の小児患者の診療計画を立案し，発表する。
⑵　評価：前期は口頭試問または筆記試験によって評価する。後期は発表内容および内容に関する口頭試問によって評価する。6.7点以上を合格とする（10点満点）。
６．客観試験２
⑴　内容
　前期：第４学年の臨床基礎実習の内容に関する復習テスト（筆記試験）を行う。実習開始前に復習しておくこと。

⑵ 評価
前・後期：それぞれ6.7点以上を合格とする（10点満点）。

７．合格判定
⑴ 全項目をみたさなければならない。
⑵ 客観試験に合格しなければならない。

小児歯科・スペシャルニーズ歯科－７

臨床実習評価方法（スペシャルニーズ歯科）

評価項目	評価方法	評価割合
１．見学・介補ケース		
前期または後期	観察記録 レポート 口頭試問	100％

１．見学・介補ケース

⑴ 内容

後期：スペシャルニーズ歯科に来院する障害を有する患児の歯科治療の介補あるいは見学を行う。

⑵ 評価

障害の内容または患児の所見に関するレポートを提出する。レポートの内容について口頭試問を行う。

矯正歯科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 受け持ち担当医の患者に対する当日の治療内容の確認，器具・器材の準備を行う。

② 患者を診療室に誘導し，ユニットに座ってもらう。

③ 当日の患者の状態について担当医に伝える。

④ 治療計画に沿った診療の介補を行う。

⑤ 指導医のもとで，臨床実習水準１（診査）を行う。

⑥ 担当医・指導医とともに患者への病態の説明に参加する。

⑦ 使用した器具・器材の後片付けを行う。

⑧ 次の患者がいるときは②から同様に繰り返す。

矯正歯科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基礎を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる。 ３．来院の動機と主訴を聞き取り記述できる。 ４．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 ５．時系列に現病歴を聞き取り記述できる。 ６．プライバシーへの配慮ができる。 ７．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理について基礎的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医療事故防止のための対策について説明できる。 ２．医療事故発生時の対応法について説明できる。 ３．危機管理マニュアルに沿った対応ができる。
２．疾患別基本治療知識	
１）咬合・咀嚼障害	
⑴　咬合異常	ＧＩＯ：不正咬合に対する治療の必要性とその意義を理解するために基本的な診断と治療計画の立案の知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診断に必要な資料採取を適切に行うことができる。 ２．提示された症例の模型分析が適切に行え，歯列不正を説明できる。 ３．提示された症例のセファロ分析が適切に行え，形態的特徴を説明できる。 ４．提示された症例の Tweed 分析が適切に行え，抜歯・非抜歯を判定できる。 ５．提示された症例の診断を適切に行うことができる。 ６．提示された症例の診断結果から治療方針を立案できる。 ７．適切な矯正装置を選択できる。 ８．矯正治療の流れを説明できる。 ９．矯正治療の効果，装置の作用機序について説明できる。 10．適切な口腔清掃指導ができる。

矯正歯科－２

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs№	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接： 1－1)－(1)	前期･後期	1～7	臨床見学	診療室		観察記録 レポート	予診
安全性への配慮と危機管理：1－1)－(2)	前期	1～3	講義	示説室	30	観察記録 レポート	講義
咬合異常： 2－1)－(1)	前期	1	実習	診療室	180	観察記録	セファロ撮影，印象採得，写真撮影，診断模型作製
		2～6	講義	示説室	420	観察記録 試験	模型分析，セファロトレース，セファロ分析，Tweed分析，総合診断，治療方針，装置，器具・器材
		2～6	実習，発表	示説室	120	レポート 観察記録	自己症例
		7	臨床実習	診療室		観察記録 レポート	資料採取，診断，早期治療，本格治療，保定
		8	講義	診療室	30	観察記録 試験	口腔清掃指導
		8	臨床実習	診療室		観察記録	実地ケース
	後期	7	講義	示説室又はセミナールーム	90	観察記録 試験	装置
		2～6	実習	示説室		レポート	典型症例
		7	臨床実習	診療室		観察記録 レポート	資料採取，診断，早期治療，本格治療，保定
		1, 7, 8	臨床実習	診療室		観察記録	実地ケース

評価　全てのリクアイヤメント項目を満たさなければならない。

＊実地ケースには，口腔清掃指導，可徹式装置の装着，エッジワイズ装置の結紮，ダイレクトボンディングがあり，評価シートによる評価を受けなければならない。
試験に合格しなければならない。(試験とは口頭試問をいう。)

＊水道橋病院での講義については，初日に場所を示す。

矯正歯科－３

臨床実習リクワイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
●実習							
・印象採得・写真撮影	前期	3	1～3	臨床実習	学生	観察記録	1
・セファロ撮影および トレース	前期	3	1～3	臨床実習	学生	観察記録	1
●見学・介助ケース							
・初診	前・後期	1	1～7	臨床実習	患者	ポートフォリオ	2(各期1)
・資料採取	前・後期	2	1	臨床実習	患者	ポートフォリオ	2(各期1)
・診断・治療計画の立案	前・後期	2	6	臨床実習	患者	ポートフォリオ	2(各期1)
・早期治療	前・後期	2	7	臨床実習	患者	ポートフォリオ	4(各期2)
・本格治療	前・後期	2	7	臨床実習	患者	ポートフォリオ	4(各期2)
・保定	前・後期	2	7	臨床実習	患者	ポートフォリオ	2(各期1)
●実地ケース							
・口腔清掃指導	前・後期	2	8	臨床実習	患者	観察記録	2(各期1)
・口腔診査	前・後期	1	1, 3, 7	臨床実習	患者	観察記録	2(各期1)
●症例分析							
・自己症例	前期	2	2～7	ケーススタディ･PBL	学生	ポートフォリオ	1
・自己資料	前期	2	2～7	ケーススタディ	学生	ポートフォリオ	1
・基礎系 PBL	前期	2	2～9	ケーススタディ	学生	ポートフォリオ	3
●講義							
・医療面接	前期	1	1～7	講義	スライド	口頭試問	
・矯正治療の流れ，模型分析，トレース	前・後期	2	2	講義	スライド	口頭試問	
・セファロ分析・Tweed 分析	前・後期	2	3，4	講義	スライド	口頭試問	
・矯正材料，器具，装置	前・後期	3	1～3	講義	スライド	口頭試問	
・口腔清掃指導	前・後期	2	8	講義	ビデオ	ポートフォリオ	
・症例検討会	前・後期	2	2～9	カンファレンス	スライド	口頭試問	2(各期1)
・国家試験問題実践	前・後期	2	2～9	スモールグループ討議・解説	スライド	ポートフォリオ	5
・矯正用装置の実際	後期	2	7，9	講義	装置を用いて	ポートフォリオ	1

矯正歯科－４

臨床実習評価表

前期

リクアイヤメント	評価方法	評価割合	備　　考
●見学･介助ケース(水道橋病院)	レポート		サインカード
●見学・介助ケース			
・予診	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・資料採取	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・診断・治療計画の立案	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・早期治療	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・本格治療	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・保定	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
●実地ケース			
・資料採得	観察記録		評価シート・サインカード
・口腔清掃指導	観察記録		評価シート・サインカード
・口腔診査	観察記録		評価シート・サインカード
●症例分析			
・自己症例	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
●症例検討会	観察記録		サインカード
●口頭試問	口頭試問		サインカード
・国家試験問題実践	口頭試問		評価シート・サインカード
総合評価	臨床実習必携（Ⅲ）に記載		

後期

リクアイヤメント	評価方法	評価割合	備　　考
●見学・介助ケース			
・予診	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・資料採取	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・診断・治療計画の立案	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・早期治療	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・本格治療	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
・保定	観察記録　ポートフォリオ		サインカード
●実地ケース			
・口腔清掃指導	観察記録		口腔診査・評価シート・サインカード
・矯正装置調整	観察記録		口腔診査・評価シート・サインカード
●症例検討会	口頭試問		サインカード
●口頭試問	口頭試問		サインカード
・国家試験問題実践	口頭試問		評価シート・サインカード
・矯正装置の実際	ポートフォリオ		サインカード
総合評価	臨床実習必携（Ⅲ）に記載		

１．各項目の評価点数
　１）見学・介助ケース：
　２）実地ケース：評価シートを10点満点（前期），10点満点（後期）で評価。
　３）症例分析・チュートリアル：分析と診断および治療レポートを10点満点で評価（前期)。
　４）症例検討会：症例検討会に参加。５点満点で評価。
　５）口頭試問：前後期あわせて評価。
２．合格判定
　１）総合評価が67％以上であること。
　２）口頭試問が40％以下の場合には補充を行なう。
　３）見学・介助ケースは，必須ケース数を満たすこと（リクアイアメント参照)。

矯正歯科－５

臨床実習評価シート

学生番号：　　氏名：

前期

刷掃指導　　年　月　日　指導医：	評価			
医療面接				
挨拶	4	3	2	1
患者との距離，向き	4	3	2	1
適切な言葉遣い	4	3	2	1
視線	4	3	2	1
質問の確認	4	3	2	1
刷掃指導				
ブラッシング方式	4	3	2	1
歯ブラシの持ち方	4	3	2	1
刷掃部位の順序	4	3	2	1
歯磨剤について	4	3	2	1
刷掃回数	4	3	2	1

後期

刷掃指導　　年　月　日　指導医：	評価			
医療面接				
挨拶	4	3	2	1
患者との距離，向き	4	3	2	1
適切な言葉遣い	4	3	2	1
視線	4	3	2	1
質問の確認	4	3	2	1
刷掃指導				
ブラッシング方式	4	3	2	1
歯ブラシの持ち方	4	3	2	1
刷掃部位の順序	4	3	2	1
歯磨剤について	4	3	2	1
刷掃回数	4	3	2	1

可撤式装置の調整　　年　月　日　指導医：	評価			
医療面接				
挨拶	4	3	2	1
患者との距離，向き	4	3	2	1
適切な言葉遣い	4	3	2	1
視線	4	3	2	1
質問の確認	4	3	2	1
可撤式装置調整				
プライヤーの選択	4	3	2	1
プライヤーの使用法	4	3	2	1
可撤式装置調整	4	3	2	1
可撤式装置試適	4	3	2	1
可撤式装置使用法の説明	4	3	2	1

矯正歯科－６

可撤式装置の調整　　年　月　日　指導医：	評　価			
医療面接				
挨拶	4	3	2	1
患者との距離，向き	4	3	2	1
適切な言葉遣い	4	3	2	1
視線	4	3	2	1
質問の確認	4	3	2	1
可撤式装置の装着				
装置の試適	4	3	2	1
装置の着脱	4	3	2	1
装置の効果の患者への説明	4	3	2	1
装置使用時間の説明	4	3	2	1
装置着脱の指導	4	3	2	1

エッジワイズ装置の結紮(1)　　年　月　日　指導医：	評　価			
医療面接				
挨拶	4	3	2	1
患者との距離，向き	4	3	2	1
適切な言葉遣い	4	3	2	1
視線	4	3	2	1
質問の確認	4	3	2	1
エッジワイズ装置の結紮（結紮線）				
プライヤーの選択	4	3	2	1
プライヤーの使用法	4	3	2	1
結紮	4	3	2	1
結紮線の切断	4	3	2	1
断端の処理	4	3	2	1

エッジワイズ装置の結紮(2)　　年　月　日　指導医：	評　価			
医療面接				
挨拶	4	3	2	1
患者との距離，向き	4	3	2	1
適切な言葉遣い	4	3	2	1
視線	4	3	2	1
質問の確認	4	3	2	1
エッジワイズ装置の結紮（モジュール）				
プライヤーの選択	4	3	2	1
プライヤーの使用法	4	3	2	1
モジュールの把持	4	3	2	1
結紮	4	3	2	1
確認	4	3	2	1

放射線科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 歯科放射線学臨床実習は基本的に，本館４階放射線科の学生実習室で行う。

② 画像検査法については，撮影見学を通じ，医療面接，安全性への配慮と危機管理，放射線防護，検査技術，各種撮影法の特徴などについて理解を深める。

③ 口内法撮影とパノラマエックス線撮影については，実際に撮影を行う。

⑴ 口内法エックス線撮影はファントム実習および患者撮影を行い，手技の実習を行う。

⑵ パノラマエックス線撮影は患者撮影を行い，手技の実習を行う。

④ 超音波検査については，後期に相互実習を行い，理解を深める。

⑤ 画像診断については，各検査法の知識確認，ならびに実際の症例を通じて読影報告書作成をしながら，診断法への理解を深める。

⑥ 画像検査オーダー実習および総合画像診断実習では，医療面接で得られた情報をもとに，疑われる疾患の診断に有用な画像検査の選択方法，および画像診断法を学ぶ。

放射線科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度・技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：適切な画像検査法を選択するために医療情報の聴取を行い，検査にあたってのインフォームドコンセントを得るのに必要な医療面接の基本を習得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師として好ましい態度で患者および家族に対応できる。 ２．患者の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し，適切に対応できる。 ３．プライバシーの配慮ができる。 ４．面接記録を整理し，必要な情報を抽出できる。 ５．画像検査による利益とリスクを説明し，検査の同意を得ることができる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理に関する基本的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医療を行うにあたっての危険性を説明できる。 ２．医療事故の防止方法について説明できる。 ３．医療事故防止のための対策について説明できる。 ４．医療事故発生時の対応方法について説明できる。 ５．医療管理マニュアルに沿った対応ができる。
２）基本的診療技能	
⑴　放射線防護	ＧＩＯ：放射線の人体への影響に関する基本的知識と放射線防護の方法を習得する。 ＳＢＯｓ：１．放射線の種類と性質を説明できる。 ２．放射線の人体への影響を説明できる。 ３．放射線防護の方法を説明できる。 ４．画像検査使用機材の特徴および管理技術を説明できる。
⑵　画像検査技術	ＧＩＯ：画像検査法に関する基本的知識と技術を修得する。 ＳＢＯｓ：１．口内法とパノラマ撮影法を実施できる。 ２．歯科用デジタルエックス線撮影システムを操作できる。 ３．簡単な品質保証計画を実施できる。 ４．超音波検査を実施できる。

放射線科－２

項　目	教　育　目　標
２．検査画像別基本技能	
１）口内法	
ＧＩＯ：口内法の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．口内法の画像形成原理を説明できる。	
２．口内法の種類と適応を列挙できる。	
３．口内法画像上の解剖構造を説明できる。	
４．口内法画像から異常所見を列挙できる。	
５．得られた所見から診断名を推定できる。	
２）パノラマエックス線検査	
ＧＩＯ：パノラマエックス線写真の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．パノラマエックス線画像形成原理を説明できる。	
２．パノラマエックス線検査の適応を説明できる。	
３．パノラマエックス線画像上の解剖構造を説明できる。	
４．パノラマエックス線画像から異常所見を列挙できる。	
５．得られた所見から診断名を推定できる。	
３）顔面頭蓋部エックス線検査	
ＧＩＯ：顔面頭蓋部エックス線画像の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．顔面頭蓋部エックス線画像の種類と適応を列挙できる。	
２．顔面頭蓋部エックス線画像上の解剖構造を説明できる。	
３．顔面頭蓋部エックス線画像から異常所見を列挙できる。	
４．得られた所見から診断名を推定できる。	
４）CBCT	
ＧＩＯ：CBCT の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．CBCT 画像形成原理を説明できる。	
２．CBCT の適応を説明できる。	
３．CBCT 画像上の解剖構造を説明できる。	
４．CBCT から異常所見を列挙できる。	
５．得られた所見から診断名を推定できる。	
５）CT	
ＧＩＯ：単純 CT の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．CT 画像形成原理を説明できる。	
２．CT 造影剤の特徴と禁忌を説明できる。	
３．CT の適応を説明できる。	
４．CT 画像上の解剖構造を説明できる。	
５．CT から異常所見を列挙できる。	
６．得られた所見から診断名を推定できる。	
６）MRI	
ＧＩＯ：単純 MRI の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．MRI の画像形成原理を説明できる。	
２．MRI の適応を説明できる。	
３．MRI 造影剤の特徴と禁忌を説明できる。	
４．MR 画像上の解剖構造を説明できる。	
５．MRI から異常所見を列挙できる。	
６．得られた所見から診断名を推定できる。	
７）超音波検査	
ＧＩＯ：超音波の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．超音波の画像形成原理を説明できる。	
２．超音波画像の適応を説明できる。	
３．超音波画像から異常所見を列挙できる。	
４．得られた所見から診断名を推定できる。	
８）核医学検査	
ＧＩＯ：核医学検査の画像診断に必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．核医学検査の画像形成原理を説明できる。	
２．核医学検査の種類と適応を列挙できる。	
３．核医学検査画像から異常所見を列挙できる。	
９）放射線治療	
ＧＩＯ：放射線治療に関して必要な基本的知識を習得する。	
ＳＢＯｓ：１．放射線治療の意義と目的を説明できる。	
２．放射線治療の種類と特徴を列挙できる。	
３．放射線治療の副作用（有害事象），予後および QOL について説明できる。	
４．治療前後の口腔管理について説明できる。	

放射線科－３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接：　1－1)－(1)	前･後期	1～5	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
安全への配慮と危機管理：　1－1)－(2)	前･後期	1～5	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	後期	1～5	患者撮影実習	診療室	—	観察記録	口内法患者撮影実習
	前期	1～5	患者撮影実習	診療室	—	観察記録	パノラマ患者撮影実習
放射線防護：　1－2)－(1)	前･後期	1～4	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
画像検査技術：　1－2)－(2)	前期	1～3	ファントム撮影実習	実習室	—	観察記録	口内法ファントム撮影実習
	後期	1～3	患者撮影実習	診療室	—	観察記録	口内法患者撮影実習
	前期	1～3	患者撮影実習	診療室	—	観察記録	パノラマ患者撮影実習
	後期	4	相互撮影実習	超音波検査室	90	観察記録	超音波検査相互実習
口内法：　2－1)	前期	1	ファントム撮影実習	実習室	120	観察記録	口内法ファントム撮影実習
	前･後期	1～5	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	前期	1～3	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義
	前期	1～5	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	口内法読影実習
	後期	1～5	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録，口頭試問	総合画像診断実習
パノラマエックス線検査：　2－2)	前･後期	1～4	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	前期	1～3	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義
	前期	1～4	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	パノラマ読影実習
	後期	1～4	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	総合画像診断実習
顔面頭蓋部エックス線検査：　2－3)	前･後期	1～4	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	前期	1，2	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義
	前期	1～4	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	頭部単純エックス線画像読影実習
		1～4	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録，口頭試問	総合画像診断実習
CBCT：　2－4)	前･後期	1～5	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	前期	1～3	知識確認,グループディスカッション	実習室	60	観察記録	臨床講義
	前期	1～5	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	CBCT･CT読影実習
	後期	1～5	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録，口頭試問	総合画像診断実習
CT：　2－5)	前･後期	1～4	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	前期	1～4	知識確認,グループディスカッション	実習室	60	観察記録	臨床講義
	前期	5，6	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	CBCT･CT 読影実習
	後期	1～6	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録，口頭試問	総合画像診断実習
MRI：　2－6)	後期	1～4	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義
	後期	1～6	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録,レポート,口頭試問	MRI 読影実習
	後期	1～6	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録，口頭試問	総合画像診断実習
超音波検査：　2－7)	前･後期	1～4	臨床見学	診療室	—	観察記録	外来見学
	後期	1，2	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義
	後期	1～4	ケーススタディと発表会	実習室	120	観察記録，口頭試問	総合画像診断実習
核医学検査：　2－8)	後期	1，2	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義
放射線治療：　2－9)	後期	1～3	知識確認,グループディスカッション	実習室	90	観察記録	臨床講義

放射線科－４

臨床実習リクアイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
外来見学	前・後期	1－1）－(1) 1－1）－(2) 1－2）－(1) 2－1） 2－2） 2－3） 2－4） 2－7）	1～5 1～5 1～4 1～5 1～5 1～5 1～4 1～4	見学	患者 症例画像	観察記録	5以上
口内法ファントム撮影実習	前期	1－2）－(2) 2－1）	1～3 1	ロールプレイ	撮影ファントム	観察記録	1
口内法患者撮影実習	後期	1－1）－(1) 1－1）－(2) 1－2）－(1) 1－2）－(2)	1～6 1～5 1～4 1～3	ケーススタディ	患者	観察記録	1～2
パノラマ患者撮影実習	前期	1－1）－(1) 1－1）－(2) 1－2）－(1) 1－2）－(2)	1～6 1～5 1～4 1～3	ケーススタディ	患者	観察記録	1～2
超音波検査相互実習	後期	1－2）－(2) 2－7）	4 1	ロールプレイ	学生相互	観察記録	1
画像検査オーダー実習	後期	1－1）－(1) 2－1） 2－2） 2－3） 2－4） 2－5） 2－6） 2－7） 2－8）	1～5 2 2 1 2 3 2 2 2	ケーススタディ	症例画像	観察記録	1～2
口内法読影実習	前期	2－1）	3～5	ケーススタディ	症例画像	レポート	1～2
パノラマ読影実習	前期	2－2）	3～5	ケーススタディ	症例画像	レポート	1～2
顔面頭蓋部エックス線画像読影実習	前期	2－3）	2～4	ケーススタディ	症例画像	レポート	1～2
CBCT・CT 読影実習	前期	2－4） 2－5）	3～5 3～5	ケーススタディ	症例画像	レポート	1～2
MRI 読影実習	後期	2－6）	4～6	ケーススタディ	症例画像	レポート	1～2
総合画像診断実習	後期	1－2）－(2) 2－1） 2－2） 2－3） 2－4） 2－4） 2－5） 2－5） 2－6） 2－7）	6 2～5 2～4 2～4 2～4 1～3 2～4 1～3 2～4 2～4	ロールプレイ	症例画像	口頭試問	1～2

放射線科－５

臨床実習評価方法

前期リクアイヤメント	方　　法	評価割合
外来見学	観察記録	60%
口内法ファントム撮影実習	観察記録	
パノラマ患者撮影実習	観察記録	
フィルムカンファレンス	観察記録	
口内法読影実習	レポート	10%
パノラマ読影実習	レポート	10%
顔面頭蓋部エックス線画像読影実習	レポート	10%
CBCT・CT 読影実習	レポート	10%

後期リクアイヤメント	方　　法	評価割合
外来見学	観察記録	40%
口内法患者撮影実習	観察記録	
超音波検査相互実習	観察記録	
画像検査オーダー実習	観察記録	
MRI 読影実習	レポート	10%
総合画像診断実習	観察記録	50%

口腔インプラント科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 各小班の担当医局員に当日の処置・見学の内容を確認する。

② 必須ケースに関しては，術者に対して内容の事前確認を行い検印を受ける。

③ 見学に入る際は小班担当医局員の誘導に従う。

④ １診療につき見学は３名までとする。

⑤ 手術室へは患者のドレープが終わった後で入室する。

⑥ 備付のガウン・ヘッドキャップ・マスクを着用する。

⑦ 処置・外来見学後は術者とディスカッションを行い検印を受ける。

⑧ 術者から指示があった場合のみ，診療の介補を行うものとする。

「知識向上のための方略」

① 実習期間１日目に多肢選択試験（インプラント学関連国家試験過去問題）を行う。実習期間中，問題内容に関する自習を行い，最終日に担当医局員から問題の解説を受ける。

② 診療時間後，１日の見学内容を小班担当医局員に報告し，関連分野の口頭試問を受ける。

③ 朝礼時の口頭試問で理解不足と判定された内容に関して，追加の口頭試問を受ける。

口腔インプラント科－１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の知識・態度	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：インプラント治療における良好な医師・患者間の信頼関係を築くために，基本的なインプラント医療面接の知識・態度を身につける。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる。 ３．来院の動機と主訴を聞き取り記述できる。 ４．インプラント治療に対する患者の期待，希望，不安を把握する。 ５．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 ６．時系列に現病歴を聞き取り記述できる。 ７．プライバシーへの配慮ができる。 ８．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：安心・安全なインプラント治療を実施するために，歯科医療における安全性と危機管理について基礎的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医療事故防止のための対策について説明できる。 ２．医療事故発生時の対応法について説明できる。 ３．危機管理マニュアルに沿った対応ができる。
２．インプラント治療の知識・技能	
⑴　他診療領域の基本的知識の再確認	ＧＩＯ：インプラント学を理解するための歯科医療の基礎を整理し，その再確認を行う。 ＳＢＯｓ：１．口腔外科領域の基礎知識・術式について説明できる。 ２．歯内・歯周療法領域の基礎知識・術式について説明できる。 ３．補綴治療領域の基礎知識・術式について説明できる。
⑵　インプラント学の基本的知識の修得	ＧＩＯ：インプラント学を通して，系統科目間の横のつながりを理解し，統合型学習を身につける。 ＳＢＯｓ：１．インプラント学臨床総論を説明できる。 ２．インプラント学基礎総論を説明できる。 ３．インプラントの概要およびインフォームドコンセントについて説明できる。 ４．インプラントの材料を説明できる。 ５．インプラント治療と従来の治療法の違いを説明できる。 ６．全身状態とインプラント治療について説明できる。 ７．インプラントの画像所見を説明できる。 ８．インプラント治療の診査・診断・治療計画について説明できる。 ９．インプラント治療と臨床検査について説明できる。 10．インプラント埋入時に必要な基礎的知識を説明できる。 11．インプラント組織界面形成期における生体反応を説明できる。 12．インプラントの上部構造について説明できる。 13．インプラント機能時における咬合の特徴と生体反応を説明できる。 14．インプラントの失敗の原因と対処法について説明できる。 15．インプラントのメインテナンスについて説明できる。
⑶　インプラントの基本的診断技能の修得	ＧＩＯ：的確な治療計画を立案するため，インプラント手術前の基本的な画像診断と設計の技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．提示された症例の画像分析が適切に行える。 ２．提示された症例の顎骨の形態的特徴を説明できる。 ３．提示された症例の顎骨の画像を正確にトレースできる。 ４．インプラントの種類・サイズを正しく選択できる。 ５．インプラント埋入位置・方向を正しく設計ができる。
⑷　インプラントの外科処置に必要な知識の修得	ＧＩＯ：安全かつ正確にインプラントを埋入するための術式・器具・手技について説明できる。 ＳＢＯｓ：１．インプラント埋入手術の術式を説明できる。 ２．インプラント埋入手術に必要な器具について説明できる。 ３．術中の患者管理について説明できる。 ４．合併症への対応について説明できる。

口腔インプラント科－２

項　目	教　育　目　標
(5) インプラントの印象採得に必要な知識の修得	ＧＩＯ：正確なインプラント上部構造を製作するための印象採得手技を説明できる。 ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対し，適切にアバットメントが装着できる。 ２．器具の操作方法ついて説明できる。 ３．手技について説明できる。 ４．術中のエラーの確認方法について説明できる。 ５．印象採得後の技工操作について説明できる。
(6) 上部構造製作に必要な知識の修得	ＧＩＯ：アバットメント・上部構造の装着手順を説明できる。 ＳＢＯｓ：１．症例に応じた，適切なアバットメントの選択ができる。 ２．上部構造の適合性の確認方法を説明できる。 ３．上部構造の装着手技を説明できる。 ４．器具の使用方法を説明できる。 ５．インプラント上部構造作製の流れを説明できる。
(7) インプラントのメインテナンスに必要な知識の修得	ＧＩＯ：インプラントのメインテナンス・合併症およびその対応について説明できる。 ＳＢＯｓ：１．メインテナンスに使用する器具について説明できる。 ２．メインテナンスの手技について説明できる。 ３．メインテナンスの診査・検査項目について説明できる。 ４．コンポーネントの破折の対応を説明できる。 ５．上部構造の破折の対応を説明できる。 ６．インプラント周囲炎について説明できる。 ７．インプラント周囲炎の対応について説明できる。

臨床実習実施方法

項　目	実習期間	SBOs №.	方　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
医療面接：１－(1) 安全性への配慮と危機管理：１－(2)	前期	１～８ １～３	臨床見学	水道橋病院 診療室	240	観察記録	患者説明見学
他診療領域の基本的知識の再確認：２－(1)	前期	１～３	朝礼時 口頭試問	13階 セミナー室	150	口頭試問	朝礼・口頭試問
インプラント学の基本的知識の習得：２－(2)	前期	１～15	講義 口頭試問	13階 セミナー室	180 60	ポストテスト 口頭試問	基礎知識講義 口頭試問
インプラントの基本的診断技能の習得：２－(3)	前期	１～５	実習	13階 セミナー室	600	診断レポート	治療計画立案実習
インプラントの外科処置に必要な知識の修得：２－(4)	前期	１～４	臨床見学 実習	水道橋病院 診療室	240	観察記録	手術見学
インプラントの印象採得に必要な知識の修得：２－(5)	前期	１～５	臨床見学	水道橋病院 診療室	240	観察記録	印象採得見学
上部構造製作に必要な知識の修得：２－(6)	前期	１～５	臨床見学	水道橋病院 診療室	240	観察記録	上部構造装着見学
インプラントのメインテナンスに必要な知識の修得：２－(7)	前期	１～７	臨床見学	水道橋病院 診療室	240	観察記録	メインテナンス見学

評価　全てのリクアイヤメント項目を満たさなければならない。
　　試験に合格しなければならない。(口頭試問)

口腔インプラント科－３

臨床実習リクアイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
●基礎知識講義	前期	２－(2)	１～15	講義	スライド	口頭試問	1
●朝礼口頭試問，多肢選択問題	前期	２－(1)	１～３	講義	プリント	口頭試問	5
●治療計画立案実習	前期	２－(3)	１～５	講義・ディスカッション	患者資料	診断レポート	1
●シミュレーター実習	前期	２－(4)	4	実習	ｼﾐｭﾚｰﾀｰ	観察記録	1
●スキャニング実習	前期	２－(6)	5	実習	スキャナー	観察記録	1
●外来見学							
患者説明	前期	１－(1)	１～８	臨床見学	患者	観察記録	2
		１－(2)	１～３				
１次手術(インプラント埋入)	前期	２－(4)	１～４	臨床見学	患者	観察記録	2
２次手術(アバットメント連結)	前期	２－(4)	１～４	臨床見学	患者	観察記録	2
骨造成術	前期	２－(4)	１～４	臨床見学	患者	観察記録	1
印象採得	前期	２－(5)	１～５	臨床見学	患者	観察記録	2
上部構造装着	前期	２－(6)	１～５	臨床見学	患者	観察記録	2
メインテナンス	前期	２－(7)	１～７	臨床見学	患者	観察記録	2

口腔インプラント科－４

臨床実習評価方法

評　価　項　目	方　　法	評価割合	備　考
●朝礼	口頭試問， 多肢選択問題	5%	サインカード
●基礎知識　講義	口頭試問	45%	サインカード・評価シート
●治療計画立案実習	レポート	40%	評価シート
●シミュレーター実習	観察記録	－	サインカード
●スキャニング実習	観察記録	－	サインカード
●外来見学			
患者説明	観察記録	－	サインカード
１次手術（インプラント埋入）	観察記録（必須）	5%	サインカード
２次手術（アバットメント連結）	観察記録	－	サインカード
骨造成術	観察記録	－	サインカード
印象採得	観察記録（必須）	5%	サインカード
上部構造装着	観察記録	－	サインカード
メインテナンス	観察記録	－	サインカード
総合評価		100%	

１．各項目の評価点数
　１）見学：サインカードを10点満点で評価
　２）症例分析：レポートを10点満点で評価
　３）口頭試問：10点満点で評価
　４）態度評価による減点を行う
２．合格判定
　１）総合評価が67%以上であること
　２）口頭試問が67%以上であること
　３）見学の必須項目を満たしていること
　４）実習，症例分析，口頭試問は必ず行うこと

口腔インプラント科－５

チェックシート・評価シート

●症例診断レポート

１．現症の把握	1	2	3	4	5
２．問題点の抽出	1	2	3	4	5
３．治療方針	1	2	3	4	5
４．追加検査など	1	2	3	4	5
５．治療計画説明書	1	2	3	4	5
６．トレース・設計	1	2	3	4	5

健康スポーツ歯科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 治療計画や，装着予定の製作物などは事前に指導医とディスカッションを行い確認する。

② 受け持ち患者さんに対する当日の治療内容と必要な器具・器材の確認。

③ 患者さんを診療室に案内し，ユニットに座ってもらう。

④ 当日の患者さんの状態，検査結果，治療計画・治療内容について指導医とディスカッションを行い，フィードバックを受ける。

⑤ 治療計画に沿った診療の介助または見学を行う。

⑥ 指導医とともに患者さんへの病態の説明に参加する。

⑦ 診療終了後，指導医が記載する診療録を確認する。

⑧ 初診患者さんの場合には，指導医とともに医療面接に参加する。

⑨ 使用した器具・器材の後片付けを行う。

健康スポーツ歯科ー１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基礎を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる。 ３．来院の動機と主訴を聞き取り，記述ができる。 ４．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 ５．時系列に現病歴を聞き取り，記述ができる。 ６．プライバシーへの配慮ができる。 ７．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理について基礎的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医療事故防止のための対策について説明できる。 ２．医療事故発生時の対応について説明できる。 ３．危機管理マニュアルに沿った対応ができる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：正しい診断を行うために，必要な診察と検査に関する知識と技能を習得する。 ＳＢＯｓ：１．診察と検査によって得られた情報を記録できる。 ２．他科・医科との対診の必要性を判断できる。
⑵　診断・治療計画の立案	ＧＩＯ：個々の患者に適した治療を行うために，基礎的な歯科疾患についての診断能力を身につけ，治療計画立案の方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診察および検査結果から問題点を抽出できる。 ２．問題点の重要性を判定できる。 ３．診断名を推定できる。 ４．診断理由を述べることができる。 ５．診断名に対する治療法を列挙できる。 ６．治療方法に関する情報収集ができる。 ７．治療計画を立てることができる。
⑶　消毒・滅菌	ＧＩＯ：歯科医療を安全に行うために，感染予防に必要な消毒・滅菌の知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．Standard precautions を実施できる。 ２．手指，器具および技工物などの消毒・滅菌を実施できる。 ３．医療廃棄物を適切に扱うことができる。
⑷　指示書等の作成	ＧＩＯ：診療を進めるために，診療記録と各種指示書の作成法を身につける。 ＳＢＯｓ：１．診療記録の記載ができる。 ２．処方箋の記載を説明できる。 ３．技工指示書の内容を説明できる。

健康スポーツ歯科－２

項　目	教　育　目　標
２．疾患別基本治療技能	
１）顎口腔系のスポーツ外傷	
⑴　歯冠破折，歯根破折，顎顔面骨折など	
	ＧＩＯ：歯の外傷や顎顔面骨折の処置に対する基本的な知識，技術を修得する。
	ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対して治療方針を述べることができる。
	２．提示された症例に対しての診療手順を述べることができる。
	３．適切なマウスガードの選択し，製作手順を述べることができる。
	４．適切なフェイスガードの設計ができる。
	５．提示された症例の処置前，処置後の保健指導ができる。
２）睡眠障害関連	
⑴　閉塞性睡眠時無呼吸症	
	ＧＩＯ：閉塞性睡眠時無呼吸症の処置に対する基本的な知識，技術を修得する。
	ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対して治療方針を述べることができる。
	２．提示された症例に対しての診療手順を述べることができる。
	３．適切な口腔内装置の選択し，製作手順を述べることができる。
	４．提示された症例の処置前，処置後の保健指導ができる。
⑵　睡眠時ブラキシズム	
	ＧＩＯ：睡眠時ブラキシズムの処置に対する基本的な知識，技術を修得する。
	ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対して治療方針を述べることができる。
	２．提示された症例に対しての診療手順を述べることができる。
	３．適切な口腔内装置の選択し，製作手順を述べることができる。
	４．提示された症例の処置前，処置後の保健指導ができる。
３）顎機能障害	
⑴　顎関節症	
	ＧＩＯ：顎関節症の処置に対する基本的な知識，技術を修得する。
	ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対して症型を分類することができる。
	２．提示された症例に対して治療方針を述べることができる。
	３．提示された症例に対しての診療手順を述べることができる。
	４．適切な口腔内装置を選択し，製作手順を述べることができる。
	５．提示された症例の処置前，処置後の保健指導ができる。

健康スポーツ歯科ー３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs№	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクアイヤメント項目
歯冠破折，歯根破折，顎顔面骨折など：2－1)－(1)	―	1～5	臨床講義 ケーススタディ	講義室 診療室	240分	観察記録 客観試験	一般担当ケース，講義
マウスガードの作製：2－1)－(1)	―	3	実習 ケーススタディ	診療室 技工室	300分	観察記録 口頭試問	実習
閉塞性睡眠時無呼吸症候群：2－2)－(1)	―	1～4	臨床講義 ケーススタディ	講義室 診療室	90分	観察記録 客観試験	一般担当ケース，講義
睡眠時ブラキシズム：2－2)－(2)	―	1～4	臨床講義 ケーススタディ	講義室 診療室	60分	観察記録 客観試験	一般担当ケース，講義
顎関節症：2－3)－(1)	―	1～5	臨床講義 ケーススタディ	講義室 診療室	60分	観察記録 客観試験	一般担当ケース，講義

健康スポーツ歯科ー４

臨床実習リクワイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法
●一般担当ケース／ケーススタディ						
歯冠破折，歯根破折，顎顔面骨折症例	―	2－1）－(1)	1～5	臨床実習 ケーススタディ	患者／模型	観察記録 客観試験
閉塞性睡眠時無呼吸症症例	―	2－2）－(1)	1～4	臨床実習 ケーススタディ	患者／模型	観察記録 客観試験
睡眠時ブラキシズム症例	―	2－2）－(2)	1～4	臨床実習 ケーススタディ	患者／模型	観察記録 客観試験
顎関節症症例	―	2－3）－(1)	1～5	臨床実習 ケーススタディ	患者／模型	観察記録 客観試験
●実習						
マウスガード製作	―	2－1）－(1)	4	実習	模型	観察記録 口頭試問

健康スポーツ歯科ー５

臨床実習評価方法

評 価 項 目	方　　法	評価割合
試験成績点	客観試験	50%
臨床実地点	観察記録	25%
実習点	観察記録，口頭試問	25%

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 全身管理及び疼痛管理の計画を指導医と議論する。

② 治療計画を指導医と議論する。

③ 指導医の診療補助または見学を行う。

④ 治療に必要な医療器具・器材の準備を行う。

⑤ 治療内容について指導医と議論する。

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科ー１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：主訴の聴取などから適切に症状を把握し，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基本を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる。 ２．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる。 ３．来院動機と主訴を聞き取り記述できる。 ４．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 ５．時系列に現病歴を聞き取り記述できる。 ６．プライバシーへの配慮ができる。 ７．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理についてその知識と態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．歯科医療を行うにあたっての危機管理を説明できる。 ２．医療事故防止のための対策について説明できる。 ３．医療事故発生時の対応方法について説明できる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：患者の病態を把握して正しい診察を行うために，必要な診断方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医科への対診の必要性を判断できる。 ２．患者の問題点の抽出をできる。 ３．患者の問題点に対する対応策を立案できる。
⑵　治療計画の立案	ＧＩＯ：個々の患者に適した治療計画の立案の方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診査および検査結果から，問題点を抽出できる。 ２．診断名を列挙できる。 ３．治療方法を列挙できる。 ４．治療計画を立案できる。

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科－２

項　目	教　育　目　標
２．疾患別基本治療技能	
１）歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患	
⑴　心身障害（児）者の歯科診療	ＧＩＯ：障害者の歯科診療を行うために精神的，身体的特徴を考慮した対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．障害を考慮したコミュニケーションがとれる。 ２．全身状態を評価できる。 ３．歯科治療と全身管理の計画を立案できる。
⑵　要介護者の歯科診療	ＧＩＯ：要介護者の QOL の向上のために，精神的身体的特徴を考慮した基本的な対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．日常生活動作の評価ができる。 ２．提示された全身管理を必要とする症例の管理方法を説明できる。
２）顎・口腔領域の疾患	
⑴　顎・口腔領域の疼痛疾患（神経疾患，筋骨格系疾患）	ＧＩＯ：疼痛疾患患者の QOL の向上のために，心理面を考慮した基本的な対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．痛みの評価ができる。 ２．診断名を推論できる。 ３．治療方針を立案できる。
３）全身管理および救急処置	ＧＩＯ：安全な歯科治療のために，全身管理と救急処置に関する知識と技能・態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．モニタリング機器を装着できる。 ２．バイタルサインを評価できる。 ３．全身管理の計画を立案できる。 ４．静脈確保の準備ができる。 ５．静脈確保を行うことができる。 ６．BLS を行うことができる。

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科ー３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs№	方　　法	場所	時間(分)	評価方法	リクワイヤメント項目
医療面接	後期	1～7	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
安全性への配慮と危機管理	後期	1～4	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
診察と検査技術	後期	1～3	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
治療計画の立案	後期	1～5	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
心身障害（児）者の歯科診療	後期	1～3	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
要介護者の歯科診療	後期	1～2	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
顎・口腔領域の疼痛疾患 （神経疾患，筋骨格系疾患）	後期	1～3	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学, 医療面接
全身管理および救急処置	後期	1～7	臨床見学 ケーススタディー	診療室		観察記録 レポート	臨床見学

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科ー４

臨床実習リクワイヤメント

リクワイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法・方略	媒　体	評価方法	ケース数
●臨床見学							
・心身障害者の治療	後期	2－1)－(1)	1～3	臨床見学	患者	観察記録	1
・要介護者の治療	後期	2－1)－(2)	1～2	臨床見学	患者	観察記録	1
・神経疾患の治療	後期	2－1)－(3)	1～3	臨床見学	患者	観察記録	1
・筋骨格系の治療	後期	2－1)－(3)	1～3	臨床見学	患者	観察記録	1
・他疼痛疾患	後期	2－1)－(3)	1～3	臨床見学	患者	観察記録	1
●医療面接							
・心身障害者	後期	2－1)－(1)	1～2	臨床見学	患者	観察記録	1
・要介護者	後期	2－1)－(2)	1～2	臨床見学	患者	観察記録	1
・疼痛疾患患者	後期	2－1)－(3)	1～3	臨床見学	患者	観察記録	1
●実習							
・神経ブロック実習	後期	2－2)－(1)	1～3	ロールプレイ	学生	観察記録	1
・トリガーポイント触知実習	後期	2－2)－(1)	1～3	ロールプレイ	学生	観察記録	1
・モニタリング	後期	2－3)	1～4	ロールプレイ	学生	観察記録	1
●口頭試問	後期						

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科－５

臨床実習評価方法

評　価　項　目	評価方法	評価割合	備　考
●臨床見学		10%	
・心身障害者の治療	観察記録		
・要介護者の治療	観察記録		
・神経疾患の治療	観察記録		
・筋骨格系の治療	観察記録		
・他疼痛疾患	観察記録		
●医療面接		10%	
・心身障害者	観察記録		
・要介護者	観察記録		
・疼痛疾患患者	観察記録		
●実習		10%	
・神経ブロックの準備	観察記録		
・点滴セットの準備	観察記録		
・モニタリング	観察記録		
●口頭試問		70%	

摂食嚥下リハビリテーション科

「卒前臨床実習のガイドライン」

① 臨床実習で与えられた症例について，事前に治療方針を検討する。

② 訪問診療先の患者さんの全身状態，嚥下機能，これまでの治療経過について診療録を確認し，指導医と事前にディスカッションを行う。

③ 持参する器具・器材を確認する。

④ 訪問先では患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し，適切に対応する。

⑤ 訪問診療後は患者さんの状態，治療内容，検査方法および結果などについて指導医とディスカッションを行い，フィードバックを受ける。

⑥ 訪問した患者さんに関連するレポートを作成し，指導医とディスカッションを行う。

⑦ 当科実習は水道橋病院で行う。

摂食嚥下リハビリテーション科ー１

臨床実習教育目標

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　医療面接	ＧＩＯ：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基礎を修得する。 ＳＢＯｓ：１．挨拶など社会人として適切な対応をする。 ２．歯科医師として好ましい態度で患者と家族に対応する。 ３．患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し，適切に対応する。 ４．的確に病歴を聴取し，問題点を抽出する。 ５．プライバシーに配慮する。
⑵　安全性への配慮と危機管理	ＧＩＯ：歯科医療における安全性と危機管理について基礎的知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．医療事故防止のための対策について説明できる。 ２．医療事故発生時の対応法について説明できる。 ３．危機管理マニュアルに沿った対応ができる。
２）基本的診療技能	
⑴　診察と検査技術	ＧＩＯ：正しい診断を行うために，必要な診察と検査に関する知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．必要な診察と検査を行うことができる。 ２．診察と検査によって得られた情報を記録できる。 ３．他科・医科との対診の必要性を判断し，照会状の記載について説明できる。
⑵　診療器具の管理・扱い方	ＧＩＯ：診療器具の安全で正しい管理・扱いができるようになるために，基本的な知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．使用する診療器具を準備できる。 ２．診療器具の正しい扱いができる。 ３．診療器具の片付け，消毒，保守・管理ができる。
⑶　診療書類の作成	ＧＩＯ：診療を進めるために，診療記録と各種指示書の作成法を身に付ける。 ＳＢＯｓ：１．診療記録の記載ができる。 ２．処方箋の記載法を説明できる。
⑷　他職種との連携	ＧＩＯ：効率的な治療を進めるために，他職種との連携についての基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．患者に関わる他職種とその役割を説明できる。 ２．他職種との連携の取り方を説明できる。
２．疾患別基本治療技能	
１）摂食嚥下障害	ＧＩＯ：摂食機能障害の改善のために，摂食嚥下機能の評価法およびリハビリテーションの基本的知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．摂食嚥下機能の評価ができる。 ２．治療計画の立案ができる。 ３．摂食機能療法を行うことができる。
２）在宅における歯科治療	ＧＩＯ：安全で確実な歯科訪問診療を行うために，必要な知識・態度・技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．治療計画の立案ができる。 ２．在宅において基本的な歯科治療ができる。 ３．安全で確実な口腔ケアができる。

摂食嚥下リハビリテーション科－２

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs №.	方　　法	場　　所	評価方法
医療面接：　1－1）－(1)	後期	1～5	臨床実習	訪問診療先	口頭試問 観察記録
安全性への配慮と危機管理： 1－1）－(2)	後期	1～3	臨床実習	訪問診療先	口頭試問 客観試験
診察と検査技術：　1－2）－(1)	後期	1～3	臨床実習	訪問診療先	口頭試問 客観試験
診療器具の管理・扱い方： 1－2）－(2)	後期	1～3	臨床実習	訪問診療先	口頭試問 客観試験
診療書類の作成：　1－2）－(3)	後期	1～2	臨床見学	訪問診療先	観察記録
他職種との連携：　1－2）－(4)	後期	1～2	臨床見学	訪問診療先	口頭試問 客観試験
摂食嚥下障害：　2－1）	後期	1～3	臨床実習	訪問診療先	レポート 口頭試問
在宅における歯科治療：　2－2）	後期	1～2	臨床実習	訪問診療先	レポート 口頭試問

摂食嚥下リハビリテーション科ー３

臨床実習リクアイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs №.	学習方法	媒　体	評価方法
●臨床見学						
訪問診療	後期	全て	全て	臨床実習 ケーススタディ	患者	レポート 観察記録 口頭試問

摂食嚥下リハビリテーション科ー４

知識向上を必要とする学生のための方略

対象学生に対し，プレテスト・ポストテストを軸にした口頭試問を充実させることで重点指導を行う。また，実習後に宿題レポートを課し，後日追加の口頭試問を実施する。

臨床実習評価方法

相互実習については①（客観試験および口頭試問）によって形成的評価を行い，臨床見学については②（レポート，観察記録および口頭試問）によって評価する。実習全てに出席し，①と②の平均点が6. 7以上を合格とする。

市川総合病院

「卒前臨床実習のガイドライン」

医科（後期）・歯科・口腔外科（前・後期）

1．事前に当日の診療内容の確認を行う。

2．当日の患者さんの状態，検査結果について指導医より説明を受ける。

3．指導医の診察，治療を見学する。

4．指導医とともに患者さんへの病態の説明に参加する。

5．必要に応じて，指導医のもとでエックス線撮影依頼，処方箋，紹介状あるいは対診願いを作成する。

6．患者さんの診察終了時には，指導医が記載する診療録を確認し，診療内容を理解する。

7．医療面接を行い，診療録の作成ならびに治療計画の立案を行う。

市川総合病院－１

臨床実習教育目標

隣接医学

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　全身管理	
ＧＩＯ：患者情報をもとに疾患を推測し，医師と適切に連携するために，患者の症候・病態が生じる原因及び代表的疾患を理解し，医師と連携するために必要な医学的知識を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．全身的症候・病態を理解する。	
２．代表的医科疾患・病態および歯科診療との関連について理解する。	
３．医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を理解する。	
４．妊産婦の歯科医療時の注意点を説明できる。	

病院歯科

項　目	教　育　目　標
１．疾患別の基本治療技能	
１）全身疾患を有した患者の歯科治療	
ＧＩＯ：全身的疾患を有した患者の歯科診療を行うために必要な基本的知識と技能を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．歯科治療上問題となる全身的疾患について理解する。	
２．歯科治療時の各全身疾患の異常発現に対する予防策を理解する。	
３．歯科治療時のバイタルサインの変化を把握する。	
４．歯科治療時の各全身疾患の異常発現に対して対処する。	
５．各全身疾患に対する禁忌・注意薬剤を理解する。	
２）口腔粘膜疾患，顎口腔領域に症状を現す全身疾患	
ＧＩＯ：口腔粘膜疾患および全身疾患に関連した顎口腔領域の疾患を診断するために，必要な基本的知識と技能を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．口腔粘膜疾患の種類と特徴を理解する。	
２．水疱，紅斑，びらん，潰瘍，白斑，色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を理解する。	
３．顎口腔領域に症状を現す全身疾患について理解する。	
４．診断のために必要な検査を理解する。	
５．口腔粘膜疾患の治療方針を立案できる。	
３）周術期等口腔機能管理	
ＧＩＯ：周術期等における口腔合併症を予防し，全身状態の向上に寄与するために，周術期等口腔機能管理に関する知識，技能および態度を修得する。	
ＳＢＯｓ：１．周術期等口腔機能管理の目的を理解する。	
２．手術，化学療法，放射線治療，緩和ケアにおける口腔合併症について理解する。	
３．患者の口腔環境，口腔衛生状態を評価し，術後に起こりうる変化を予測する。	

市川総合病院－２

集学的口腔外科治療

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　集学的口腔外科治療	ＧＩＯ：口腔外科疾患の患者を安全に管理するために，必要な知識，技能および態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．病棟管理のために必要な基本的知識を理解する。 ２．口腔がんの診断方法，治療法を理解する。 ３．医科および多職種と連携した患者管理を理解する。 ４．入院管理において，他科に診察を依頼する。 ５．臨床と病理の連携について理解する。

多職種連携・地域包括ケア

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診療の態度技能	
⑴　多職種連携	ＧＩＯ：多職種と連携しチーム医療を行うために，多職種の役割とチーム医療に関する知識，技能および態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．多職種の役割を理解する。 ２．多職種連携によるチーム医療を理解する。 ３．チーム医療における歯科の役割を理解する。 ４．チーム医療に参加し，多職種とコミュニケートする。
⑵　地域包括ケアシステム	ＧＩＯ：地域包括ケアシステムに参画するために，保健・医療・福祉・介護制度を理解し，地域医療，病診連携についての知識及び態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．地域における保険・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を理解する。 ２．地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を理解する。 ３．病診連携，病病連携を理解する。 ４．訪問看護の役割を理解する。 ５．訪問看護や退院時カンファレンスに参加する。 ６．終末期における歯科の関わり方を理解する。

市川総合病院－３

臨床実習実施方法

項　　目	実習期間	SBOs	方　　法	場所	時間(分)	評価方法
隣接医科	後期	隣接医科１～４	講義 院内見学	示説室 各検査室	360	レポート
全身疾患を有した患者の歯科治療	前期	病院歯科１）１～５	講義 臨床実習	示説室 診療室	180	レポート 客観試験
	後期				180	
口腔粘膜疾患，顎口腔領域に症状を現す全身疾患	前期	病院歯科２）１～５	講義 臨床実習	示説室 診療室	180	レポート 客観試験
	後期				360	
周術期等口腔機能管理	前期	病院歯科３）１～３	講義 臨床実習	示説室 診療室	180	レポート 客観試験
	後期				180	
集学的口腔外科治療	前期	集学的口腔外科治療 １～５	臨床実習 手術見学	診療室 病　棟 手術室	180	レポート 客観試験
	後期				360	
多職種連携	前期	多職種連携・地域包括ケア ⑴１～４	講義 院内見学	示説室 各検査室	360	レポート
	後期				180	
地域包括ケアシステム	前期	多職種連携・地域包括ケア ⑵１～６	講義 臨床実習 SGD	示説室 病　棟 地　域	180	レポート
	後期					

市川総合病院－４

臨床実習リクアイヤメント

項　　目	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法
●一般医科実習						
・内科・消化器科実習	後期	隣接医科	１～４	臨床実習 講義	指導医 プリント	レポート 試験
・循環器科実習						
・外科実習						
・整形外科実習						
・リハビリテーション科実習						
・小児科実習						
・産婦人科実習						
・眼科実習						
・耳鼻咽喉科実習						
・放射線科実習						
・皮膚科・形成外科実習						
・泌尿器科実習						
・精神・神経科実習						
・脳神経外科実習						
・心臓血管外科実習						
・歯科・口腔外科実習	前期 後期	病院歯科 全範囲	1）1～5 2）1～5 3）1～3	臨床実習 講義	指導医	レポート
●必修ケース						
・全身を有する症例の医療面接	後期	病院歯科1）	１～５	臨床実習	患者	観察記録 レポート
・口頭試問	前期 後期	病院歯科 全範囲	1）1～5 2）1～5 3）1～3	ケーススタディ 講義	指導医 資料	観察記録 試験 プレゼンテーション
・症例検討						
・外科病理実習	後期	集学的口腔 外科治療	５	臨床実習 講義	指導医	レポート
・スキルスラボ実習	前期 後期	病院歯科1）	１～５	シミュレーション 実習	指導医	レポート 観察記録 客観試験
・地域包括ケア実習	前期	多職種連携・ 地域包括ケア 全範囲	(1)１～４ (2)１～６	臨床実習 講義 SGD	指導医 資料	レポート 観察記録 客観試験
・口腔がんセンター実習	前期	集学的口腔 外科治療	１～５	臨床実習	指導医	観察記録
・薬剤部実習	後期	隣接医学	１～４	講義 臨床実習	指導医	レポート

市川総合病院－５

臨床実習評価方法

前期

評 価 項 目	評価法	評価割合	備　考
●出席		30%	
●症例検討実習		20%	チェックシート参照
１全身的疾患を有する症例の治療計画立案	レポート 観察記録		
２口腔粘膜疾患の診断・治療計画立案			
●スキルスラボ実習 （SimMan 実習・高齢者実習・睡眠時無呼吸実習）	観察記録 客観試験	30%	
●地域包括ケア実習	観察記録 客観試験	10%	
●口腔がんセンター実習	観察記録 客観試験	10%	

後期

評 価 項 目	評価法	評価割合	備　考
●出席		30%	
●症例検討実習	レポート 観察記録	20%	チェックシート参照
●一般医科実習	レポート	40%	
●外科病理実習	レポート	５％	
●薬学部実習	レポート	５％	

提出レポートの内容および評価基準

１点：レポートを提出している
２点：内容に誤った記載が多く，大部分が不足している
３点：内容の一部が不足している
４点：内容は詳細に記載されているが整理されていない
５点：内容は詳細かつ整理されている

口頭試問の内容および評価基準

１点：基本的事項を誘導することで回答できる
２点：基本的事項をある程度誘導することで回答できる
３点：質問に対して，妥当な回答ができる
４点：質問に対して，知識の裏付けがされた回答ができる
５点：派生した質問に対して，知識の裏付けがされた回答ができる

※合格基準

全必修項目を満たさなければならない。
試験に合格しなければならない。

市川総合病院－６

チェックシート

診　断　学　実　習

学生番号＿＿＿＿＿＿　採点者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

令和　　年　　月　　日実施

	４点	３点	２点	１点
１）与えられた症例を十分に理解している	□	□	□	□
２）鑑別診断および推定診断を提示できている	□	□	□	□
３）具体的な治療方針の説明を行えている	□	□	□	□
４）テクニカルタームを正確に使用できている	□	□	□	□
５）質問に答えられている※１問１点，学生から質問がない場合は担当医で追加して下さい。	□	□	□	□

※評価者は必ず合計点の記入をお願いします。

合計点数　　／20　点

千葉歯科医療センター

「卒前臨床実習のガイドライン」

一般歯科系（保存科・補綴科・総合診療科）
口腔外科系（口腔外科・歯科麻酔科・放射線科）
専門歯科系（摂食嚥下リハビリテーション科・口腔インプラント科）

① 臨床見学を行う患者さんの当日の処置内容や状態について，担当医から説明を受ける。

② 各科の状況に応じて，患者さんに対する当日の治療内容を確認し，必要な器具・材料の準備を行う。

③ 各科の状況に応じて，患者を診療室に案内し，ユニットに座ってもらう。

④ 臨床見学後，処置内容に関する「一診療一質問」に答える。

⑤ 担当医より，見学した症例の中から，関連するレポート課題の提示を受ける。

⑥ 作成したレポートに関して，患者さんの状態，検査結果，治療計画・治療内容について担当医とディスカッションを行い，フィードバックを受ける。

⑦ 訪問診療に同行し，患者や訪問診療の特性を理解する。

⑧ 昼休みは基本を12：00から13：00とする。

千葉歯科医療センター－1

臨床実習教育目標

一般歯科系（保存科・補綴科・総合診療科）

項　目	教　育　目　標
1．診療の基本技能	
1）基本的診察	
ＧＩＯ：口腔機能の変化や機能障害を把握し，良質かつ適正な歯科医療を提供するために知識・態度・技能を修得する。 ＳＢＯｓ：1．歯科医師がとる好ましい態度で患者に対応できる。 2．来院の動機と主訴を正確に聞き取り，記述できる。 3．既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる。 4．時系列に現病歴を聞き取り，記述できる。 5．プライバシーへの配慮ができる。 6．顎顔面および口腔内の診察を実施する。 7．収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる。	
2．疾患別基本治療技能	
1）歯の硬組織疾患	
ＧＩＯ：歯の硬組織疾患に関する診察・検査・診断，治療および術後の口腔健康管理を行うために，必要な知識，態度を修得する。 ＳＢＯｓ：1．歯の硬組織疾患における病態とその病因を説明する。 2．歯の硬組織疾患の診断に必要な診察および検査を実施する。 3．診察・検査結果をもとに歯の硬組織疾患を診断する。 4．治療計画の立案ができる。 5．治療法を選択し，その必要性と治癒経過を説明する。 6．歯の硬組織疾患に対する処置を実践する。 7．象牙質・歯髄複合体の保護に配慮する。 8．修復処置の予後を推測し説明する。	
2）歯周疾患	
ＧＩＯ：基本的な歯周治療を行うために，治療法の知識を修得する。 ＳＢＯｓ：1．歯周治療の流れが説明できる。 2．主訴に対する治療法を説明できる。 3．予後を説明できる。 4．治療計画の立案ができる。 5．歯周外科処置の治療術式を説明できる。 6．メインテナンス・SPT について説明できる。 7．歯周病と歯周治療後の治癒について病理組織学的に説明できる。	
3）歯髄・根尖（端）性歯周組織疾患	
ＧＩＯ：基本的な歯内療法処置を行うための治療法の知識を修得する。 ＳＢＯｓ：1．各疾患を診断するための診査法が実施できる。 2．治療計画の立案ができる。 3．疾患の概要と治療方針・術式・治癒経過を患者に説明できる。 4．基本的な根管処置操作の前準備ができる。 5．治療後の治癒について病理組織学的に説明できる。	
4）歯の硬組織疾患，歯周疾患，歯髄・根尖（端）性歯周組織疾患	
ＧＩＯ：セルフケア支援のための口腔保健指導と口腔保健状態を向上させるための予防処置（プロフェッショナルケア）を行うために必要な知識，態度を修得する。 ＳＢＯｓ：1．歯科疾患の発症因子を推定できる。 2．口腔の健康度やリスクの評価ができる。 3．セルフケアのための動機づけができる。 4．口腔清掃を指導できる。 5．間食指導を実践できる。 6．定期的な健康管理の重要性を説明できる。 7．定期的な予防処置の重要性を説明できる。	

千葉歯科医療センター－２

臨床実習教育目標

一般歯科系（保存科・補綴科・総合診療科）

項　目	教　育　目　標
5）口臭の診断と対応	
	ＧＩＯ：口臭を訴える患者への診断とその対応を行うために，必要な知識，技能および態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．口臭の客観的測定法を説明できる。 ２．口臭の客観的測定法を実践できる。 ３．口臭の官能検査法を実践できる。 ４．口臭検査の結果をもとに診断できる。 ５．口臭検査の診断に基づいてその対応を説明できる。 ６．口臭の発生メカニズムについて説明できる。 ７．口臭の予防法について説明できる。 ８．口臭を訴える患者への精神的苦痛に配慮できる。
6）歯質・歯の欠損	
	ＧＩＯ：歯質・歯の欠損のために，固定性補綴装置についての基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対して，歯質・歯の欠損のための治療方針を述べることができる。 ２．単純な症例の処置前，後の保健指導ができる。
7）歯質・歯の欠損	
	ＧＩＯ：歯の欠損の治療のために，可撤性義歯についての基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．提示された症例に対して義歯の設計の基本方針を述べることができる。 ２．提示された症例に対して診療手順を述べることができる。 ３．義歯の取り扱い方法，残存歯の清掃方法を患者に指導できる。 ４．装着後の変化への対応方法を述べることができる。

千葉歯科医療センター－３

臨床実習教育目標

口腔外科系（口腔外科・歯科麻酔科・放射線科）

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）抜歯	
ＧＩＯ：適切かつ安全に抜歯を行うために，基本的な知識，態度，抜歯法を身に付ける。 ＳＢＯｓ：１．滅菌と消毒について説明できる。 ２．抜歯の適応症・禁忌症について説明できる。 ３．抜歯に関して注意すべき事項，継発症に対する処置法を説明できる。 ４．抜歯時に使用する器具を列挙し，説明できる。 ５．適切な抜歯手順を説明できる。 ６．抜歯後の注意事項を説明できる。	
２）画像検査・診断技術	
ＧＩＯ：画像検査法に関する基本的知識と技術を修得する。 ＳＢＯｓ：１．磁気共鳴画像の読影ができる。 ２．超音波画像の読影ができる。 ３．CT 画像の読影ができる。 ４．特殊画像検査の目的を説明できる。	
２．疾患別基本治療技能	
１）心身障害（児）者の歯科診療	
ＧＩＯ：障害者の歯科診療を行うために精神的，身体的特徴を考慮した対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．障害を考慮したコミュニケーションがとれる。 ２．全身状態を評価できる。 ３．歯科治療と全身管理の方針を立案できる。	
２）高齢者の歯科診療	
ＧＩＯ：高齢者の QOL の向上のために，精神的身体的特徴を考慮した基本的な対応方法を修得する。 ＳＢＯｓ：１．日常生活動作の評価ができる。 ２．提示された全身管理を必要とする症例の歯科治療を説明できる。	
３）口腔領域の神経疾患・心因性病態	
ＧＩＯ：口腔領域の神経疾患・心因性病態に関する基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．診断名を推定できる。 ２．治療方針を立案できる。	
４）全身管理および救急処置	
ＧＩＯ：口腔領域の神経疾患・心因性病態に関する基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：安全な歯科治療を行うために，全身管理と救急処置に関する知識と技能と態度を修得する。 １．モニタリング機器を装着できる。 ２．提示された症例のバイタルサインを得ることができる。 ３．提示された症例の全身状態を評価できる。 ４．提示された症例の全身管理法を立案できる。 ５．一次救急処置を説明できる。	
５）粘膜疾患	
ＧＩＯ：口腔領域の粘膜疾患に関する基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．口腔潜在性悪性疾患（前癌病変，前癌状態）について説明できる。 ２．紅板症，白板症，口腔扁平苔癬，口腔カンジダ症について，その所見と対応を説明できる。	

千葉歯科医療センター－４

臨床実習教育目標

専門歯科系（口腔インプラント科・摂食嚥下リハビリテーション科）

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）臨床歯科栄養学	
ＧＩＯ：高齢者の身体的，精神的および心理的特徴を理解し，栄養管理や食形態の調整について説明できる。 ＳＢＯｓ：１．高齢者のための栄養学を説明する。 ２．高齢者のための食事指導を説明できる。 ３．栄養管理や食形態の調整について説明できる。	
２）他職種との連携	
ＧＩＯ：効率的な治療を進めるために，他職種との連携についての基本的な知識を修得する。 ＳＢＯｓ：１．患者に関わる他職種とその役割を説明できる。 ２．他職種との連携の取り方を説明できる。	
２．疾患別基本治療技能	
１）摂食嚥下障害	
ＧＩＯ：摂食機能障害の改善のために，摂食嚥下機能の評価法およびリハビリテーションの基本的知識と技能を修得する。 ＳＢＯｓ：１．摂食嚥下機能の評価をする。 ２．治療計画の立案をする。 ３．摂食機能療法を実施する。	
２）在宅における歯科治療	
ＧＩＯ：地域密着型の歯科医療を行うために，歯科と医療・福祉・介護との連携し，訪問歯科診療に必要な知識・技能・態度を修得する。 ＳＢＯｓ：１．訪問歯科診療における治療計画の立案をする。 ２．在宅において基本的なコミュニケーションをする。 ３．安全で確実な口腔衛生管理を説明する。	
３）インプラント外科処置	
ＧＩＯ：安全かつ正確にインプラントを埋入するための術式・器具・手技について説明できる。 ＳＢＯｓ：１．インプラント埋入時に必要な基礎的知識を説明できる。 ２．インプラント埋入手術の術式を説明できる。 ３．インプラント埋入手術に必要な器具について説明できる。 ４．術中の患者管理について説明できる。 ５．合併症への対応について説明できる。	

千葉歯科医療センター－５

臨床実習教育目標

セルフスタディ

項　目	教　育　目　標
１．診療の基本技能	
１）診断・治療計画の立案	
ＧＩＯ：個々の患者に対した治療を行うために，基礎的な歯科疾患についての診断能力を身につけ，治療計画立案の方法を習得する。 ＳＢＯｓ：１．診察および検査結果から問題点を抽出できる。 ２．問題点の重要性を判定できる。 ３．診断名を推定できる。 ４．診断理由を述べることができる。 ５．診断名に対する治療法を列挙できる。 ６．治療方法に関する情報収集ができる。 ７．治療計画を立てることができる。	
２．疾患別基本治療技能	
１）歯科疾患基本知識	
ＧＩＯ：与えられた症例に対し的確な診査，診断，治療を行うために必要な知識を習得する。 ＳＢＯｓ：１．鑑別疾患を列挙し，その診断方法を説明できる。 ２．診断に必要な検査方法を選択できる。 ３．画像検査の所見を述べることができる。 ４．診断理由を述べることができる。 ５．得られた情報から診断し，治療法を列挙できる。 ６．症例に応じた器材，薬剤を列挙できる。	

千葉歯科医療センター－６

臨床実習実施方法

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
一般歯科系：見学ケース	前期 後期	保存科・ 補綴科全範囲	保存科・ 補綴科全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	各10
一般歯科系：自験ケース	前期 後期	保存科・ 補綴科全範囲	保存科・ 補綴科全範囲	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各２
一般歯科系：予診	前期 後期	一般歯科系： １－１）	一般歯科系： １－１）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各１
一般歯科系：口臭実習	後期	一般歯科系： ２－５）	一般歯科系： ２－５）	相互実習	学生	レポート 口頭試問	１
口腔外科系：見学ケース	前期 後期	口腔外科 全範囲	口腔外科 全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	各10
口腔外科系：ディスカッションケース	前期 後期	口腔外科系： ２－５）	口腔外科系： ２－５）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各２
口腔外科系：ディスカッションケース	前期 後期	歯科麻酔科 全範囲	歯科麻酔科 全範囲	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各１
口腔外科系：ディスカッションケース	後期	放射線科 全範囲	放射線科 全範囲	臨床実習	スライド・ 動画	レポート 口頭試問	１
専門歯科系：見学ケース	前期	専門歯科系： １－１）２), ２－１）２）	専門歯科系： １－１）２), ２－１）２）	臨床実習	患者	口頭試問	１
専門歯科系：見学ケース	前期 後期	専門歯科系： ２－３）	専門歯科系： ２－３）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	１
セルフスタディ：ディスカッションケース	前期 後期	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： １－１）	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： １－１）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各１
セルフスタディ：ディスカッションケース	前期 後期	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： ２－１）	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： ２－１）	ケーススタディ	スライド	ポートフォリオ	各２

千葉歯科医療センター－７

臨床実習リクアイヤメント

リクアイヤメント	実施期間	ＧＩＯ	SBOs	学習方法	媒　体	評価方法	ケース数
一般歯科系：見学ケース	前期 後期	保存科・ 補綴科全範囲	保存科・ 補綴科全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	各10
一般歯科系：自験ケース	前期 後期	保存科・ 補綴科全範囲	保存科・ 補綴科全範囲	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各２
一般歯科系：予診	前期 後期	一般歯科系： １－１）	一般歯科系： １－１）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各１
一般歯科系：口臭実習	後期	一般歯科系： ２－５）	一般歯科系： ２－５）	相互実習	学生	レポート 口頭試問	１
口腔外科系：見学ケース	前期 後期	口腔外科 全範囲	口腔外科 全範囲	臨床実習	患者	観察記録 口頭試問	各10
口腔外科系：ディスカッションケース	前期 後期	口腔外科系： ２－５）	口腔外科系： ２－５）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各２
口腔外科系：ディスカッションケース	前期 後期	歯科麻酔 科全範囲	歯科麻酔 科全範囲	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各１
口腔外科系：ディスカッションケース	後期	放射線科 全範囲	放射線科 全範囲	臨床実習	スライド・ 動画	レポート 口頭試問	１
専門歯科系：見学ケース	前期	専門歯科系： 1－1）2), 2－1）2）	専門歯科系： 1－1）2), 2－1）2）	臨床実習	患者	口頭試問	１
専門歯科系：見学ケース	前期 後期	専門歯科系： ２－３）	専門歯科系： ２－３）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	１
セルフスタディ：ディスカッションケース	前期 後期	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： １－１）	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： １－１）	臨床実習	患者	レポート 口頭試問	各１
セルフスタディ：ディスカッションケース	前期 後期	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： ２－１）	ｾﾙﾌｽﾀﾃﾞｨ： ２－１）	ケーススタディ	スライド	ポートフォリオ	各２

※担当医の検印のないものはケースとして認めない。

※自験ケース・ディスカッションケースはレポートの提出をもってケースとする。

千葉歯科医療センター－８

臨床実習評価方法

評価項目	評価方法	評価割合
１．自験ケース・ディスカッションケース・相互実習		
前期	レポート・口頭試問・ポートフォリオ	30％
後期	レポート・口頭試問・ポートフォリオ	30％
２．見学ケース		
前期	観察記録・レポート・口頭試問	30％
後期	観察記録・レポート・口頭試問	30％
３．出席		40％
前期	出席記録	
後期	出席記録	

１．自験ケース・ディスカッションケース・相互実習
評価
前期：必須ケース数（10）以上で評価割合の40％を満たす。
後期：必須ケース数（11）以上で評価割合の40％を満たす。

２．見学ケース
評価
前期：必須ケース数（21）以上で評価割合の30％を満たす。
後期：必須ケース数（21）以上で評価割合の30％を満たす。

３．出席
１）内容
前・後期：配属科において，朝および夕方，指導医から出席確認の検印を受ける。
２）評価
前・後期：すべての検印の確認により，評価割合の30％を満たす。

４．合格判定
１）総合点が6.7以上であること。
２）自験ケースがすべて終了していること。
３）ディスカッションケースがすべて終了していること。
４）相互実習をすべて履修していること。
５）見学ケースが基準症例数以上のこと。

千葉歯科医療センター－９

＜前・後期＞

一般歯科系（保存科，補綴科，総合診療科），口腔外科系（口腔外科，歯科麻酔科，放射線科），専門歯科系（摂食嚥下リハ科，口腔インプラント科）

1　一般歯科系・口腔外科系臨床実習内容

1）見学ケース

臨床見学を行った場合，臨床見学ケースを患者ごとに１ケースを与える。その際に担当医とディスカッションを行う（１診療１質問)。原則として当日に検印を受けることとする。適切な回答が得られない場合は，担当医は検印を保留とし，適切な回答が得られた段階で検印を与える。

リクワイヤメント帳記載例

No.	内　容	日付	患　者　名	治療部位	ディスカッション	検印
1	咬合採得	5／1	T. イズミサワ	7－4 | 3－7	各種水平的顎間関係の決定法の利点欠点について	印
2	根管治療	5／2	R. サシハラ	4	根管貼薬剤の種類について	印

2）ディスカッションケース（一般歯科系，口腔外科系）

指導医より与えられた対象症例についてディスカッションレポート（別紙）を作成し，ディスカッションとフィードバックを受ける。フィードバック終了後，必要事項を記載のうえ提出し，ディスカッションケースの終了とレポート提出の確認として，ディスカッションケースの「レポート提出確認印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

No.	日付	患　者　名	治療部位	指導医　検印	レポート提出確認印
①	4／20	M. チワキ	7－3	印	印

3）自験ケース（一般歯科系）

自験ケース終了後，ディスカッションケース「指導医検印」欄に検印をもらう。指導医より与えられた対象症例についてディスカッションレポート（別紙）を作成し，ディスカッションとフィードバックを受ける。

フィードバック終了後，必要事項を記載のうえ提出し，ディスカッションケースの終了とレポート提出の確認として，「レポート提出確認印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

No.	日付	患　者　名	治療部位	指導医　検印	レポート提出確認印
①	5／20	C. チバ	7－4	印	印

4）予診見学（一般歯科系，口腔外科系）

予診の医療面接・口腔内診察を行った場合，予診ディスカッションケースを患者ごとに１ケースを与える。

また，指導医より与えられた対象症例についてディスカッションレポート(別紙)を作成し，ディスカッションとフィードバックを受ける。フィードバック終了後，必要事項を記載のうえ提出し，ディスカッションケースの終了とレポート提出の確認として，ディスカッションケースの「レポート提出確認印」と「指導医検印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

No.	日付	患　者　名	治療部位	指導医　検印	レポート提出確認印
①	6／10	H. イチカワ	7－3	印	印

5）相互実習ケース

事前に与えられた課題についてレポートを作成し，ディスカッションとフィードバックを受ける。実習終了とレポート提出の確認として，相互実習ケースの「指導医検印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

No.	日付	実　習　内　容	指導医検印
①	11／10	口臭実習	印

2　専門歯科系臨床実習内容

1）見学ケース

指導医より与えられた対象症例についてディスカッションレポート（別紙）を作成，呈示し，ディスカッションとフィードバックを受ける。フィードバック終了後，見学ケースの終了の確認として，「指導医検印」欄に検印をもらいレポートを提出後「レポート提出確認印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

No.	日付	患　者　名	治療部位	指導医　検印	レポート提出確認印
①	4／20	H. ノグチ	7－3	印	印

2）ディスカッションケース（専門歯科系）

指導医より与えられた対象症例についてディスカッションレポート（別紙）を作成し，ディスカッションとフィードバックを受ける。フィードバック終了後，必要事項を記載のうえ提出し，ディスカッションケースの終了とレポート提出の確認として，ディスカッションケースの「レポート提出確認印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

歯科麻酔科

No.	日付	患　者　名	治療内容	合併症/管理方法	指導医　検印	レポート提出確認印
1	4／20	M. チワキ	7－3	精神遅滞/全身麻酔	印	印

千葉歯科医療センター－11

インプラント科

No.	日付	患　者　名	治療内容	指導医　検印	レポート提出確認印
1	4／20	M. チワキ	$\overline{7\,6}$ インプラント埋入	印	印

摂食嚥下リハビリテーション科

No.	日付	患　者　名	治療内容	指導医　検印	レポート提出確認印
1	4／20	M. チワキ	間接訓練	印	印

放射線科

日付	症例	画像診断名	読影レポート提出　検印
4／20	No. 1		印

3　セルフスタディ

担当教員より与えられた課題症例についてディスカッションレポートを作成し，ディスカッションとフィードバックを受ける。フィードバック終了の確認として，セルフスタディケースの「指導医検印」欄に検印をもらう。

リクワイヤメント帳記載例

No.	日付	実　習　内　容	指導医検印
①	7／12	課題症例No.	印

4　臨床実習集合場所・時間

千葉歯科医療センター２階　学生講義室　８：45

千葉歯科医療センターー12

東京歯科大学　臨床実習（一般歯科系）ディスカッションレポート

学生番号：　　氏名：　　実施日：　　年　　月　　日

症例の概要

診断・治療方針の概要

今回行った治療内容・手順

使用した器材・材料

指導医印

千葉歯科医療センターー13

予診見学記録

学生番号：　　氏名：　　実施日：　　年　　月　　日

主訴

既往歴

現病歴

現症

推定診断

処置方法

疑問に思ったこと

指導医印

千葉歯科医療センターー14

東京歯科大学　臨床実習（口腔外科系・専門歯科系）ディスカッションレポート

学生番号：　　氏名：　　実施日：　　年　　月　　日

症例の概要

診断・治療方針の概要

今回行った治療内容・手順

使用した器材・材料

学生番号：　　氏名：　　実施日：　　年　　月　　日

（指導医記載欄）

指導医評価：

指導医コメント：　　指導医印：

§６　指　導　教　員　　一　覧

保存科指導教員一覧

歯内療法学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
山田雅司	准教授	岩澤弘樹	助教
藤井理絵	講師（千葉）	番場桃子	助教
佐古　亮	講師（千葉）	倉持　仁	助教
田宮資己	講師	古澤成博	客員教授

歯周病学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
齋藤　淳	教授	目代理央	助教
富田幸代	准教授（千葉）	宮田直樹	助教
今村健太郎	准教授	森　心汰	助教
山下慶子	講師	銅冶賢吾	助教

保存修復学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
村松　敬	教授・部長	半場秀典	講師
杉戸博記	准教授	関矢日向子	助教
春山亜貴子	講師		

小児歯科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
新谷誠康	教授・部長	田中亜生	助教
櫻井敦朗	准教授	平井研吾	助教
辻野啓一郎	講師	山川麻衣子	助教
今井裕樹	講師（千葉）	米津卓郎	客員教授（千葉）
本間宏実	講師		

口腔外科指導教員一覧

口腔顎顔面外科学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
渡　邊　　章	教授・部長	渡　邉　美　貴	助教（市川）
成　田　真　人	講師（市川）	村　松　賢太郎	助教
吉　田　秀　児	講師	松　崎　勇　佑	助教
加　藤　　宏	講師	柴　原　孝　彦	客員教授
林　　宰　央	講師	髙　野　正　行	客員教授
有　泉　高　晴	助教		

口腔病態外科学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
片　倉　　朗	教授	小　山　　侑	講師
菅　原　圭　亮	教授	小谷地　雅　秀	講師
山　本　雅　絵	講師（市川）	加　藤　禎　彬	助教
岩　本　昌　士	講師（千葉）	立　澤　孝太郎	助教
西　山　明　宏	講師		

歯科麻酔科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
一　戸　達　也	特任教授	齋　藤　菜　月	助教（千葉）
松　浦　信　幸	教授・部長	飯　村　真理子	助教
小　鹿　恭太郎	准教授	髙　島　恵　子	助教（千葉）
三　上　香　織	講師	姜　　祐　奈	助教
齋　藤　玲　奈	助教（市川）	関　　真都佳	助教

補綴科指導教員一覧

老年歯科補綴学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
上　田　貴　之	教授・部長	中　澤　和　真	助教
竜　　正　大	准教授	小　林　嵩　史	助教
髙　野　智　史	講師	田　中　　希	助教
太　田　　緑	講師		

クラウンブリッジ補綴学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
関　根　秀　志	教授	酒　井　貴　徳	講師
野　本　俊太郎	准教授	黒　田　祥　太	助教
久　永　竜　一	准教授（千葉）	平　野　瑞　穂	助教
四ツ谷　　護	講師	大和田　　碧	助教

パーシャルデンチャー補綴学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
山　下　秀一郎	教授	北　村　　旭	助教
田　坂　彰　規	教授	伊　東　紘　世	助教
大　平　真理子	講師	加　藤　雄　人	助教
小　林　　裕	講師	堀　田　宏　巳	客員准教授

矯正歯科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
西　井　　康	教授・部長	飯　島　由　貴	講師（千葉）
石　井　武　展	准教授（千葉）	山　下　　悠	助教
立　木　千　恵	准教授	薄　場　はるか	助教
森　川　泰　紀	講師（千葉）	末　石　研　二	客員教授
有　泉　　大	講師	片　田　英　憲	客員教授

放射線科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
後　藤　多津子	教授・部長	松　元　秀　樹	助教
音　成　実　佳	講師	和　田　大　岳	助教
小　髙　研　人	講師	岡　野　友　宏	客員教授
佐　藤　仁　美	助教	和　光　　衛	客員教授（千葉）

口腔インプラント科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
佐々木　穂　高	教授・部長	原　田　惇　朗	助教
伊　藤　太　一	准教授（千葉）	賴　岡　廣　明	助教（千葉）
古　谷　義　隆	講師	重　松　正　樹	助教
平　野　友　基	講師	牧　野　将　大	助教

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
福　田　謙　一	教授・科長	太　田　雄一郎	助教
加　藤　栄　助	助教	大多和　由　美	客員教授
國　奥　有　希	助教		

健康スポーツ歯科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
中　島　一　憲	教授・科長	筒　井　　新	助教

摂食・嚥下リハビリテーション科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
石　田　　瞭	教授・科長	杉　山　哲　也	客員教授（千葉）
大久保　真　衣	准教授		

内科指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
西　田　次　郎	特任教授	仁　科　牧　子	特任教授

臨床検査部指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
松　坂　賢　一	教授・部長	中　島　　啓	講師
國　分　克　寿	准教授	明　石　良　彦	講師
橋　本　和　彦	准教授（市川）		

水道橋病院指導教員一覧

氏　名	職　名	氏　名	職　名
山　本　　圭	助教（診療教員）	星　野　立　樹	助教（診療教員）（市川）
多　田　　優	助教（診療教員）	伊　藤　佳　菜	助教（診療教員）（市川）

千葉歯科医療センター指導教員一覧

総合診療科

氏　名	職　名	氏　名	職　名
大　神　浩一郎	准教授	宮　本　　薫	助教
前　田　芙　沙	助教		

千葉歯科医療センター

氏　名	職　名	氏　名	職　名
鎌　田　聡　仁	助教（診療教員）	江戸野　大　河	助教（診療教員）
水　野　周　平	助教（診療教員）	奥　村　知　里	助教（診療教員）
新行内　　恵	助教（診療教員）	河　村　忠　将	助教（診療教員）
山　本　裕　義	助教（診療教員）	小　泉　洋二郎	助教（診療教員）
小　郷　直　之	助教（診療教員）	藤　井　亜理沙	助教（診療教員）
阪　上　隆　洋	助教（診療教員）	吉　田　柊　野	助教（診療教員）
鈴　木　玲　也	助教（診療教員）	中　田　麻　衣	助教（診療教員）
濱　口　翔　一	助教（診療教員）		

市川総合病院指導教員一覧

口腔腫瘍外科学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
野　村　武　史	教授・部長	岡　村　将　宏	助教
三　邉　正　樹	助教	大　村　雄　介	助教

オーラルメディシン・病院歯科学講座

氏　名	職　名	氏　名	職　名
唐　帆　純　子	准教授	近　藤　智　豊	助教
佐　藤　一　道	准教授		

口腔がんセンター

氏　名	職　名	氏　名	職　名
野　村　武　史	教授	菊　地　崇　剛	助教
関　川　翔　一	助教		